

Anniversary Book



さらに50年先の未来に向けて

Okinawa City



位 置：北緯26度20分
東経127度48分
面 積：49.72km²
沖縄県全体の1/46
人 口：141,787人
男性 68,814人
女性 72,973人
世帯数：67,346世帯
(令和6年10月1日現在)

ごあいさつ

沖縄市は、令和6年(2024年)4月1日に市制施行50周年を迎えました。基地の門前町として発展したコザ市と中城湾港に臨む緑豊かな美里村との合併により誕生した本市は、現在もその特徴を生かしながら、新たな魅力を生み出し、発展を続けております。

「国際文化観光都市」をめざす半世紀の歩みには、時代の波を乗り越えてきた先人達の知恵やご労苦、沖縄市を愛し、育てていただいた市民の皆様が存在があります。今日の礎を築いていただいた多くの皆様への感謝の気持ちを忘れることなく、市民の皆様と協力しあいながら、さらに50年先の未来に向けて躍動し続けるまちづくりを進めてまいりたいと気持ちを新たにしております。

本記念誌は、特色あるまちとして存在感を放つ沖縄市の歩みや魅力を余すことなく詰め込んでおります。市民の皆様へ、より深くわがまちへの愛着と誇りを感じていただき、また、市外・県外の皆様にも胸躍らせ、期待高まるまちとして感じていただけましたら嬉しく思います。

世界を魅了したFIBAバスケットボールワールドカップ2023が開催された沖縄アリーナ、世界基準の通信環境を整え、国内初の常設夜間開園を行う沖縄こどもの国、県内最大級のロングビーチを有し、島全体のカーボンニュートラルを目指す東部海浜開発地区「潮乃森」をはじめ、世界に開けたまちとして、沖縄市はこれからも、終わりのない、進化し続けるまちづくりに取り組んでまいります。特に、若い世代の皆様には、これからの本市の未来に大きな希望をもっていただき、共に、まちづくりを担っていただきたいと願っております。

結びに、市制施行50周年記念事業の実施にあたり、ご協力を賜りました全ての皆様に深く感謝を申し上げますとともに、沖縄市を支えていただいております市民の皆様、関係者の皆様には、今後とも、格別なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

令和6年11月

沖縄市長 桑江 朝千夫



沖縄市歌

作詞：屋嘉 宗克(1番、2番)・飯田 英範(3番、4番)
作曲：奥平 潤

- みどりの風よ ふるさとよ
越来美里の 豊かなる
文化の花は 咲きほこり
ひらく市勢は たくましく
永遠に栄える 沖縄市
永遠に栄える 沖縄市
- かがやく空よ 青い海
中部のかなめ 自治のまち
平和の光 照りはえて
老いも若きも 手をとりて
永遠に栄える 沖縄市
永遠に栄える 沖縄市
- 熱き魂 受け継いで
心はずませ 舞い踊る
命のたすき つなぎつつ
はてなき空へ 駆け上がり
永遠に栄える 沖縄市
永遠に栄える 沖縄市
- ハイビスカスの 咲くまちに
笑顔の仲間 集いくる
世界ときずな 深めあい
ともに平和の 鐘鳴らし
永遠に栄える 沖縄市
永遠に栄える 沖縄市

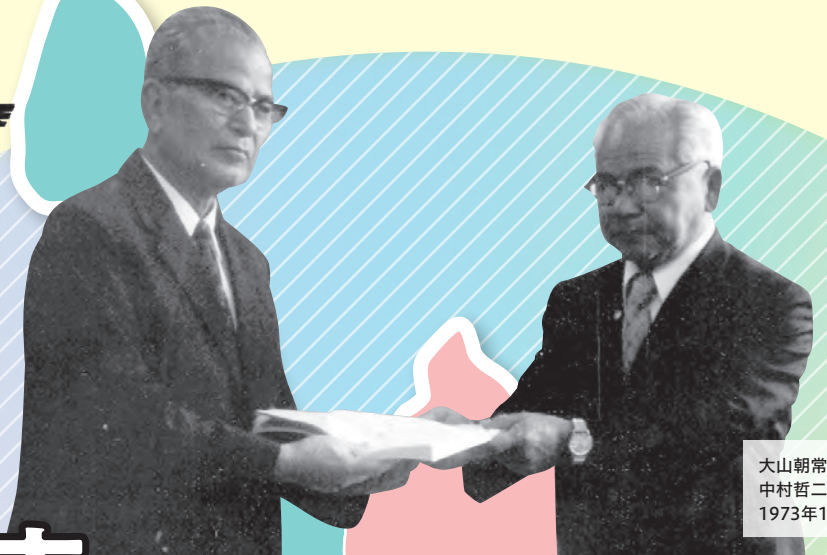
※1974年(昭和49年)に制定された沖縄市歌に、
沖縄市市制施行50周年を記念して新たに3番、
4番の歌詞が追加されました。



C o n t e n t s

- | | |
|----|--|
| 2 | コザ市×美里村 沖縄市市制施行50周年 |
| 4 | 市民投稿
市民が選ぶ沖縄市50の魅力 |
| 8 | 50周年記念特別インタビュー
まちとともに歩む人々
私と沖縄市の50年
福嶺初江(FMコザ ラジオパーソナリティー)
宮島真一(シアタードーナツ・オキナワ代表) |
| 9 | まちの魅力 |
| 9 | 未来を拓く注目トピックス |
| 14 | エイサー/スポーツ |
| 16 | 音楽/平和/こどものまち |
| 18 | 50周年記念特別対談
未来を創る若者×文化を築いた先輩
これまでの50年 これからの50年 |
| 18 | 音楽 仲宗根創(民謡歌手/アーティスト)×古堅喬(ロックミュージシャン) |
| 20 | 工芸 金城花音(知花織作家)×親川唐白(陶芸家) |
| 22 | 写真で見る今と昔、沖縄市 |
| 24 | 沖縄市のあゆみ
1974~2024 |
| 36 | 沖縄市の宝 |
| 36 | 市産品 |
| 37 | 工芸品 |
| 38 | 施設 |
| 39 | 文化財 |
| 40 | 沖縄市の兄弟・姉妹都市
日本へ、世界へ広がる交流の輪 |
| 42 | 沖縄市自治会の紹介 |
| 44 | 市民122人に聞きました！
沖縄市アンケート調査 |
| 45 | 沖縄市市制施行50周年
キャッチフレーズ・ロゴマーク |





大山朝常コザ市長(左)と
中村哲二郎美里村長(右)
1973年12月27日

沖縄市 市制施行 50周年



**あざやかに交ざり会う50年
チャンプルー沖縄市**

コザ市と美里村が合併して誕生した沖縄市は
2024年に市制施行50周年を迎えました。
50年の歴史の中で、多様な文化や人々が交わり
独自の色を放ち続けてきたこのまち。
文化、芸能、音楽、スポーツ、
そして新たな挑戦と溶け合いながら
あざやかに交ざり会いながら成長してきました。
沖縄市は、これまでの歩みを礎に
さらなる発展と飛躍を目指して
新たな50年への一歩を踏み出します。



1974

沖縄市誕生



沖縄市章

市章は、沖縄市の「お」を図案化したもので、三つの円をガッチリ組合せた表現は、市民の調和、希望、平和を表しています。昭和49年9月20日に制定されました。
[デザイン: 豊増秀男]



エントツの見える通り(ゲート通り・1950年代)
英字看板と屋根瓦とのアンバランスがコザらしい。
青空にのびる製糖工場跡のエントツがみえる。



コザ市役所(1956年7月)



越來集落(1950年代)



ネオン輝くセンター通り(1962年)



嘉手納基地第2ゲートからゲート通りを望む(1950年代)



コザの案内標識(胡屋・1979年2月)
1974年3月に設置された「基地」の表示がある標識板。
「基地の街を強調しすぎる」「コザの案内板として目立っていい」と市民の意見を二分していた。



WELCOME TO KOZA CITY
(現国道330号沿い、ライカム交差点付近・
1960年代後半)



NEW KOZA
(八重島・撮影時期不明)



沖縄全島エイサーコンクール



沖縄市のシンボル

市民の花 ハイビスカス



市民の木 ビロウ



市指定観葉植物 クロトン



泡瀬の塩田風景(1950~60年代)



通学中のコザ高校生(1950年代)



ライカムよりプラザハウス、泡瀬方面を望む(1967年3月)



美里村役場(美里・1970年代)
1958(昭和33)年から1973(昭和48)年まで使われた庁舎。
現在の国道329号沿い、「松永眼科」の建つ場所にあった。



コザ十字路付近(越來・1970年代)



コザ十字路(1970年代)



泡瀬を望む(1980年代)



美里自治会事務所(1974年12月)



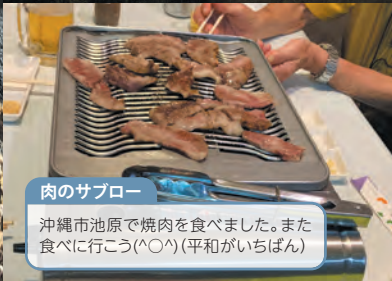
泡瀬大綱引き

大盛り上りの泡瀬大綱引き(テオ)



山内から見える朝日

沖縄市消防署山内出張所近くから見える朝日が綺麗です。(まっちゃん)



肉のサブロー

沖縄市池原で焼肉を食べました。また食べに行こう(^o^)(平和がいちばん)



沖縄市循環バス

みんな大好き沖縄市循環バス(キュー)



コザてるりん祭

沖縄市といえばコザてるりん祭!こんな素晴らしい無料イベントはどこに行ってもないと思います。(こばやしゆか)



黒潮公園

沖縄市は素敵な公園が多くて飽きません。一番大好きな黒潮公園での写真です。(ののかとるい)



北谷竹細工

沖縄市の竹職人のジージの作品と孫と。職人が途絶えず続いていくように願いを込めて。(みよ)

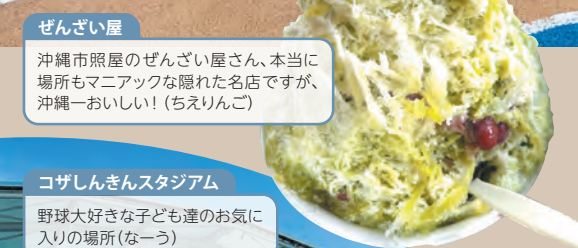


マンタ公園

マンタ公園でバスケット選手を夢見る少年(まっしー)

沖縄市 50 市民が選ぶ の魅力

沖縄市の魅力的なスポットや食べ物、心に残る風景、大切な文化など、市民の皆さんが愛する沖縄市のスポットや瞬間を捉えた写真を募集しました。その中から沖縄市の魅力が詰まった50選を紹介します。



ぜんざい屋

沖縄市照屋のぜんざい屋さん、本当に場所もマニアックな隠れた名店ですが、沖縄ーおいしい!(ちえりんこ)



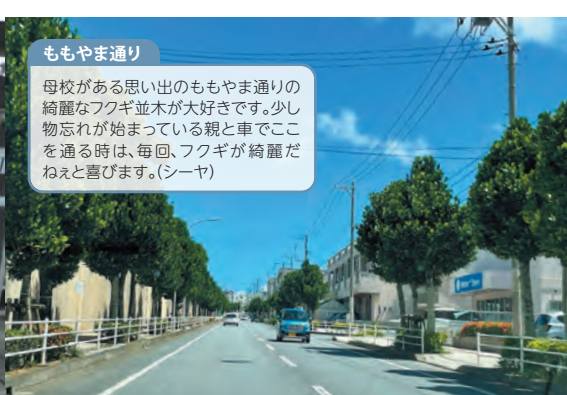
コザしんきんスタジアム

野球大好きな子ども達のお気に入りの場所(なーう)



レトロなポスト

パークアベニューの昔ながらのポストの(こばやしゆか)



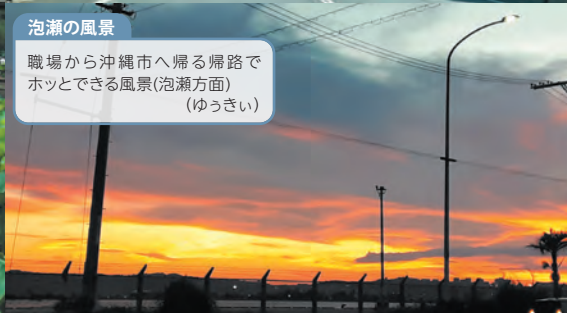
ももやま通り

母校がある思い出のももやま通りの綺麗なフクギ並木が大好きです。少し物忘れが始まっている親と車でここを通る時は、毎回、フクギが綺麗だねえと喜びます。(シーヤ)



東南植物楽園

水辺に美しく咲き誇る蓮に魅せられて。(ウッチー)



泡瀬の風景

職場から沖縄市へ帰る帰路でホッとできる風景(泡瀬方面)(ゆうさひ)



沖縄こどもの国

見つめ合う2人♡(かりさりーちゃん)



コザ十字路付近

ある日の雨上がりに撮った虹と銀天街とコザの歴史絵巻。ちょっと都会、ちょっと田舎の沖縄市・コザが大好きです。(復帰っ子といえはワタシ光る)



琉球ゴールデンキングス

彼と私はキングスが大好きです!沖縄アリーナ最高!!! (あつ)



コザ・ミュージックタウン

ここから音楽が溢れ出すみんなの遊び庭(あしびなー)(ソネ)



エイサー

エイサー大好き!こども会エイサーではチョンダラーとして舞舞頑張ってます!(るな坊)



庁舎裏の庭

市庁舎の地下2階から庁舎裏の風景です。この眺めがとても好きです。(MINI)



FMコザ ラジオパーソナリティー

福嶺 初江

(かまどおばあ)

PROFILE

ふくみね・はつえ／多良間島出身。1935年生まれ。多良間島で聴覚障害の母と戦禍を生き抜き、10代半ばで宮古島へ。その後結婚し、沖縄市へ移住。現在はFMコザのラジオ番組の他、2023年、映画「なまどうさらばんじ。今が青春」に出演。こどもの居場所「出前児童館キッズデポ」や、地域活動団体「ゆらていく会」に所属。



福嶺さんの半生を描いた映画「なまどうさらばんじ。今が青春」(生きている今が最も輝かしい)。この映画を通して、沖縄の文化や歴史、戦時下・戦後の状況にふれることができます。

泉山 朗土 撮影・監督作品
主演：福嶺 初江
映画「なまどうさらばんじ。今が青春」
企画制作：(一社)パラカダンス

70歳を超えて通った高校、今が青春の真っ最中

夫が翻訳・行政書士などの個人事務所を開設するため一家で引っ越してきたのは、コザ市が沖縄市になる5年ほど前でした。当時は照屋の黒人街近くや安慶田の団地に住んでいて、私は母の介護と育児で忙しくしていました。母は聴覚障害者で、ひらがなとカタカナしか分からない人でしたから、私は母の分も勉強したい気持ちがありました。それで、70歳で戦争の語り部活動を始めたのをきっかけに、「今までできなかったことをやろう」と思い、コザ高校の定時制に通いました。漢字検定に挑戦したり、校内発表会で代表になったり、楽しかったです。

今はよくミュージックタウンにいます。年寄りが集まっておしゃべりするのを見守って、逆に私も皆さんに見守られている。この前の七夕祭りの時は、一番街を全部回って、シアタードーナツ・オキナワでドーナツを食べてね。映画も見ますよ。毎日が「なまどうさらばんじ」、多良間の言葉で「今が青春」という意味です。

50周年記念特別インタビュー

まちとともに歩む人々

私と沖縄市の50年

沖縄市で生まれ育ち沖縄市で50歳を迎える方、沖縄市に50年以上住み続けている方に、これまでの出来事を振り返っていただき、沖縄市だからできたことや沖縄市ならではの体験などを伺いました。

エイサーにロックフェス、芸能のまち・沖縄市

子どもの頃の思い出といえば、沖縄全島エイサーまつりです。会場の近くに住んでいたので小さい時から見えて、たくさん人が集まるすごいイベントでした。旧盆の道ジュネーもそうですが、沖縄市には昔からの風習が残っていると思います。

沖縄市ならではの経験は、歴史ある音楽イベント「ピースフルラブ・ロックフェスティバル」に出たこと。それも、沖縄ロック界のレジェンド「ヒゲのかっちゃん」の分身としてね。突然電話で「明日出てよ」って誘われて、当日は白装束とマンドリルのお面を渡され、かっちゃんの代わりにステージに出ました。かっちゃんがステージに上がるまで、僕はドキドキしながら大勢の人たちの前で思わせぶりな動きをしたり、お祈りしたり。お客さんは僕のことをかっちゃんだと思っているから、「かっちゃんが二人いる！」なんて混乱していましたね(笑)。音楽活動が盛んな沖縄市だからできた体験です。

沖縄市の多種多様な魅力を発信していく

沖縄市は魅力的なコンテンツに溢れ、歴史や文化が学べる場所だと思います。僕は映画館を経営していますが、コザまち歩きガイドもしています。そこでは、沖縄市は基地があるまちとして栄えた場所、多国籍な人たちがなぜここにいるのか、戦後に栄えたまちとして戦争や平和について知ってもらおうということを強く意識しています。

沖縄市のまちづくりに携わっている



戦争体験を語り継ぎ、争いのない平和な世を願う

たまに、修学旅行のガイドさんをお願いされて、戦争体験や定時制の高校に通った話をします。私の話も修学旅行生の子どもたちにとって沖縄市にきた思い出になるはず。

今は贅沢な時代ですね。「出前児童館キッズデポ」の活動で、子どもたちに農家の方から貰った規格外の野菜を配布すると好き嫌いをするんですよ。私が子どもの頃はうんと痩せた芋でもありがたかった。平和になったということでしょうね。子どもたちに戦争の話を聞かせた後は、「喧嘩しないでよ」って言います。「喧嘩しないで仲良くしようね」って。戦がない、世界平和が一番。いつまでも住みやすい平和な沖縄市であってほしいです。

と、まだまだポテンシャルを発揮できていないと感じます。いろいろ、もっと遊べると思うんですよ。本当に多種多様な楽しみ方がある、エンターテインメントも文化もスポーツも全部楽しめるまちだと思います。沖縄市の魅力を発信し続け、将来は地域の人たちが深く交流できるようにしていきたいです。

「シアタードーナツ・オキナワ」代表

宮島 真一

PROFILE

みやじま・しんいち／沖縄市出身。1973年生まれ。ライブハウス経営、映画製作スタッフ等を経て、ローカルタレントとして活動。FMコザのラジオパーソナリティー、TV番組「コザの裏側」メインMC、ちゃんぶる〜沖縄市大使などを務める。2015年、胡屋バス停前に映画館「シアタードーナツ・オキナワ」をオープン。

「第33回ピースフルラブ・ロックフェスティバル 2016」で的一幕。マンドリルの面をつけ、ステージに座ってかっちゃんのふりをしました。お客さんもすごく盛り上がってくれました!



まちの魅力

The Charms of Okinawa City
OPENING UP THE FUTURE : Key Topics

未来を拓く注目トピックス

暮らしやすさと魅力が交差する沖縄市

沖縄市は、県内第二の人口を誇る中部地域の中核都市として発展しました。市民一人一人が暮らしやすく魅力あふれるまちの成長と発展を目指して、未来を拓く注目トピックスを紹介します。

日本一ユニークな動物園へ

01 沖縄こどもの国

沖縄県内唯一の本格的動物園。動物舎の整備や新規動物の導入など、日本一ユニークな動物園を目指しリニューアル計画が進行中。全国初の常設での夜間開園や入園無料対象年齢の引き上げで、楽しく親しみやすい場所へと発展しました。将来的には、宿泊施設や新たな観光コンテンツの構想も計画しています。



50周年おめでとうございます! 夜の「中の町」のディープな雰囲気が好きです!

県内最大の多目的アリーナ

02 沖縄アリーナ

プロスポーツ興行やコンサートなどのイベント開催を目的に、2021年に開業した沖縄アリーナ。「FIBAバスケットボールW杯2023」の開催実績もあり、開業3年目で来場者数100万人を突破。周辺にはホテルや駐車場が整備され、今後、様々な施策と連携を図り、未来を創り地域を活性化させる施設を目指します。



© 琉球ゴールデンキングス

沖縄アリーナの歴史

2015



アリーナ基本構想

2017.10.16



FIBA W杯招致を目指してプレゼン

2017.12.9



FIBA W杯の開催地に決定

2018.9.25



アリーナ工事起工式

2021.2.26



沖縄アリーナ引渡しセレモニー

2023.8.25 ~ 9.3



FIBAバスケットボールW杯2023開催

「沖縄アリーナ」でFIBAバスケットボールワールドカップ2023開催 2023.8.25~9.3

4年に一度開催される、世界最高峰のバスケットボール大会「FIBAバスケットボールワールドカップ」。19回目となる2023年大会は、フィリピン・インドネシア・日本の史上初3か国共同開催となり、日本では唯一、我が沖縄市の『沖縄アリーナ』で

試合が行われました。

日本史上初W杯3勝し、パリオリンピック出場権を自力獲得。世界中から集まったスーパースターたちの熱いプレイに酔いしれた10日間でした。



© 日本バスケットボール協会

1976年のモントリオールオリンピック以来48年ぶりとなる自力でのオリンピック出場権獲得を果たしました！

03 世界を視野に入れた 東海岸発展のフロントランナー 潮乃森

地域の賑わい創出と経済発展、そして脱炭素エリアを目指す、沖縄市「潮乃森」。
県内最大級のロングビーチと海浜緑地、ホテルが一体的な空間として広がり、ショッピングやグルメなどを楽しむ複合施設などが整備されます。併せて、隣接する泡瀬干潟や島内に整備される野鳥園など、生物多様性にも配慮した新しいまちづくりを目指しています。



県内最大級となる 900m のロングビーチ



潮乃森大花火



潮乃森完成イメージ図



潮乃森ビーチフェスタ

04 モータースポーツの 聖地を目指す (仮称) 沖縄サーキットの整備

滞在型観光の促進と雇用の創出を目的に「(仮称)沖縄サーキット」の整備に取り組んでいます。市民にモータースポーツの認知度を高め、サーキット整備への関心を高めるために、「モータースポーツ振興イベント」を毎年開催。

令和3年には「モータースポーツマルチフィールド沖縄」を開設し、施設の運用を通じて県内モータースポーツの聖地にすることを目指しています。



モータースポーツマルチフィールド沖縄



MOTOR SPORTS FES



TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge2024 in 沖縄



オキナワモーターショー

05 多様なモビリティを繋ぎ 市内の回遊性 UP 胡屋・中央地区交通拠点

国道330号沿いの胡屋・中央地区では、交通ターミナルの整備に向けたバスタプロジェクトを地域の皆様や国等と連携しながら進めています。商店街エリアでの路線バス、タクシー、循環

バス、シェアサイクルなど多様な交通モードとの乗り継ぎを充実させることで、中心市街地の活性化、公共交通の利用促進を目指します。



多様なモビリティを繋ぎ、市内の移動をスムーズに



国道 330 号付近の胡屋・中央地区のイメージ



商店街アーケードに面した場所で乗降できる



国際文化観光都市宣言

1974年10月26日制定



エイサーの歴史や文化を楽しみながら学べる体験型の施設

01 エイサー 受け継がれる伝統の踊りと魂

エイサーは、旧盆に地域を踊りながら練り歩く祖先供養の伝統芸能の一つ。沖縄市は、エイサーのメッカとしてのPRと地域の活性化を目的に「エイサーのまち」宣言をし、エイサーの文化継承と発展等に取り組んでいます。

毎年、旧盆後には、県内最大規模のエイサーイベント「沖縄全島エイサーまつり」を開催し、大勢の人で賑わいます。

エイサーの
まち宣言
2007年6月13日



「健康で美しい沖縄市」「明るくて住みよい沖縄市」「平和で豊かな沖縄市」を市民の願い、望み、目標と位置づけ、平和を希求し、国際間の学術・文化・スポーツの交流を基調とする国際文化観光都市の実現を沖縄市の将来の希望・目標としています。

沖縄市は、「国際文化観光都市宣言」を柱に、沖縄市の様々な魅力を活かしたまちづくりを推進しています。

ビジネスの創出と育成に注力 02 スポーツ

スポーツ
コンベンション
シティ宣言
1996年9月24日

「スポーツコンベンションシティ宣言」をした沖縄市は、スポーツ関連ビジネスの発掘・育成への取り組みが評価され、2021年にスポーツ庁から「スポまち！長官表彰」を受賞しました。

コザ運動公園・沖縄県総合運動公園という充実したスポーツ施設に加え、FIBAバスケットボールW杯2023の開催地にもなった沖縄アリーナを擁し、数多くのスポーツ選手が訪れています。

また、プロバスケットボールチーム「琉球ゴールデンキングス」、プロサッカーチーム「FC琉球OKINAWA」のホームタウンとなっている他、プロ野球チーム「広島東洋カープ」のキャンプも行われており、スポーツを通じた交流人口の拡大・まちづくりに取り組んでいます。





03 戦後生まれた 音楽

戦後、米軍基地の門前町として発展してきた沖縄市では、昔から受け継がれてきた民謡、ポップス、フォークなどの沖縄の音楽と、ロックやジャズといったアメリカの音楽が交り合い、個性的な音楽文化が生まれました。沖縄市では、コザ・ミュージックタウンを拠点に魅力的な音楽文化を活かした「音楽によるまちづくり」を推進しています。



04 平和の尊さを 継承し発信 平和

沖縄市平和イメージキャラクター「キューナ」

「核兵器廃絶平和都市宣言」ならびに沖縄戦の降伏調印式が行われた9月7日を「沖縄市民平和の日」と定めた沖縄市では、様々な平和事業に取り組んでいます。

「沖縄市民平和の日記念行事」「戦跡めぐり」「市民講座」を通して、歴史を振り返り、平和について考える機会を市民に提供しています。また、市民が平和について学べる平和学習コンテンツサイト「沖縄市民平和の日」を公開しています。

さらに、毎年市内の中学校から推薦された生徒と公募で選ばれた社会人を沖縄市平和大使として任命し、平和学習や平和交流を通して、人材育成を図っています。

充実した子育て支援

05 こどものまち

「こどものまち宣言」をした沖縄市は、子ども達の主体的な活動を応援し、夢に向かって元気にたくましく育つ環境づくりに力を入れています。

こどものまちの拠点となっているのが、人・環境・沖縄の未来づくりを理念としている「沖縄こどもの国」。「動物園」、ハンズオン展示で学べる「ワンダーミュージアム」、市民活動の拠点となっている「チルドレンズセンター」の3つの施設で構成されています。

また、子ども達が健やかに過ごせるよう保育園や児童館等の整備、子どもや子育て世帯への様々な支援等、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいます。



口 ックミュージシャンとして50年以上にわたり活躍し、コザ市から沖縄市への変遷を見守ってきた古堅喬さんと、民謡歌手として活躍するかたわら、ジャンルに縛られない音楽を生み出す新進気鋭のアーティスト仲宗根創さん。お二人に音楽への情熱や、沖縄市の豊かな音楽文化から受けた影響、そして音楽の未来に対する思いについて語り合ってもらいました。

★ 沖縄市のハイレベルな音楽文化

古堅 僕が音楽を始めたきっかけは、中学2年生の頃にビートルズやエルヴィス・プレスリーをTVで見てかっこいいなと憧れて「僕はこれをやるべきだ!」と思ったから。高校生になったときに友達とバンドを組んで、見よう見まねで、独学で音楽を学んだよ。

仲宗根 独学ですか?! 僕は子どもの頃、祖父が近所の民謡教室に通っていて、祖父について行ったことで影響を受けました。当時3歳でした。小学校3年生のときに、那覇市から沖縄市に引っ越して来たのですが、異国だと感じました。民謡酒場は多いし、外国人も英字の看板も多くて、雰囲気是那覇とは違って。

古堅 僕も子どもの頃は那覇市に住んでいたんだけど、昔からコザにはよく遊びに来ていた。コザは音楽が盛んだったから楽器の種類が多くてね。楽器をかうためだけに、那覇からコザまで行っていたよ。それにコザはバンドのレベルが高くてね。お客さんは米兵たちなんだけど、彼らは英語の歌に耳が慣れているから高いクオリティを求められる。僕たちのバンドはまだコザで演奏できるレベルに達していなかったから、高校卒業後は宜野湾市の普天間で、お店に飛び込みで入って「バンドいりませんか?」と聞いて回っ

民謡歌手 / アーティスト 仲宗根 創

●なかそね はじめ●民謡好きの祖父の影響で、3歳から歌を始める。金城秀之氏・松田弘一氏・登川誠仁氏に師事し民謡を学ぶ。中学1年でCDデビュー。2018年から、Roo2(ルーツ)名義で、様々なジャンルの作品を多くのアーティストとコラボし創作する音楽活動を展開。2025年にデビュー25周年を迎える。

てやっていたよ。

コザで演奏できるようになったのは19歳ぐらい。お店に飛び込み営業して、オーディション受けて、すぐに仕事をしていただけど、お客さんにうけているかどうかをお店のマネージャーがチェックしていて、盛り上がっていなかったら「お前たち下手だから帰れ!」と言われたことも。那覇から楽器担いで来ていたから、帰れと言われないように一生懸命練習したよ。

仲宗根 そんな時代だったんですね。僕は那覇から沖縄市に引っ越してきたあとに、松田弘一先生と登川誠仁先生といった民謡業界を築いてきた名だたる先生たちに弟子入りして学びました。中一の時にはCDデビューもさせてもらいました。そして、19歳からはコザでも指折りの老舗民謡酒場「民謡クラブ なんだ浜」で5年ほど修行させてもらいました。

民謡の知名定男先生や照屋林助先生たちが、民謡と洋楽を

融合させて、バンドで聴かせる沖縄のポップカルチャーを築きましたが、それはコザに根付いたアメリカ文化があったからなんだろうなと思います。僕が2018年から行っているRoo2(ルーツ)という別名義での活動は、それに影響を受けています。三線+多ジャンル(レゲエ・ヒップホップなど)で、新しい可能性を見出せるかなと思って。

なんでも受け入れるエネルギーなまち

古堅 仲宗根さんは、民謡だけでなく、幅広いジャンルの音楽を手掛けているのはいいことだね。ジャンルを超えてもちゃんと本格的にやっているのが素晴らしい! 音楽はどのジャンルでも、メロディーとリズムがあるのは同じだと思う。僕は、ベース担当だからノリを一番大切にしている。体が自然に動くグルーブ感を感じられる演奏にこだわっている。

仲宗根 沖縄市は民謡やロック、音楽の多彩なジャンルだけ

でなく、いろんな文化や人種を受け入れる文化があるので、僕は型にはまらず自分の想いを音楽で表現したいという気持ちで、作詞・作曲を行っています。

古堅 そうだね。いろんな人種がいて、エネルギーがぶつかり合うまち。それが沖縄市だよ。ゲート通りもすごい。毎週末、いろんな人種が集まってきて、見てるだけでも面白いさ。

これからの沖縄市×音楽

古堅 沖縄市は「音楽のまち」だから、若いミュージシャンがどんどん世界に出て活躍して欲しいですね。僕は沖縄市で頑張るけど、仲宗根さんは世界を目指して頑張ってる!

仲宗根 ありがとうございます。確かに「音楽のまち」は実感しますね。いつもどこかで音楽イベントが行われているので。民謡野外コンサートの「コザ・てるりん祭」や「島唄継承」ライブ、ジャンルを超えた音楽イベント「MUSIC POWER」とか。ジャンルは違っても、みんな音楽から元気をもったり、勇気づけられたり、癒されたり。民謡酒場もライブハウスもジャンルは違うけど同じ。音楽を通して、人を励ましたい。「MUSIC POWER」のようないろんな音楽を楽しめるイベントがもっと増えるといいですね。それで、音楽で人々が手を取り合っていけるまち、音楽で互いを認め合えるまちになるといいなと思います。「音楽のまち」って良いキャッチフレーズです。音楽を聴くと平和な気持ちになれるので、音楽活動を通して平和な世界を作れたらいいですね。

僕はまだまだ未熟ですが、かっこいい音楽の先輩たちが築き上げて残してくれていたものがあるので、新しいものを創るというよりも、その続きを自分たちの時代でよりいいものにしていきたいなと思っています。

古堅 音楽のパワーはすごいからね。戦後の沖縄の復興も音楽があったからさー。多くの人に、気軽に沖縄市に音楽を聴きに来て欲しいね。うちのお店は、チャージ料金もないからね(笑)

ロックミュージシャン 古堅 喬

●ふるげん たかし●高校生の時に友人とバンドを組み、独学で音楽を学ぶ。高校卒業後、宜野湾市普天間やコザ市(現沖縄市)のライブハウスで演奏。1993年にバンド「JET」を結成。翌年、ライブミュージックバー「JET」をゲート通りにオープン。2024年に開店30周年を迎えた。

これからの
50年

これまでの
50年

沖縄 縄市工芸産業振興会の設立や沖縄市工芸フェアを初開催するなど、沖縄市の工芸振興に多大な貢献をしてきた陶芸家・親川唐白さん。知花花織後継者育成事業研修を経て、知花花織事業協同組合に属しつつ、全国の工芸会展に出品するなど意欲的な活動が続ける知花花織作家・金城花音さん。ジャンルを超え、ものづくりへの思い、沖縄市工芸の未来などを語り合ってもらいました。

沖縄市の風土と作品づくり

親川 僕が焼物を始めたのは29歳の時。会社勤めしていたけれど、仕事で達成感を得られなかった。自分が死んだら何が残るだろうと寂しくなって、生きた証を残すため焼物の世界に飛び込んだ。オリジナリティーを出せて、自分の作品として残るものを作りたいかったんです。

金城 私は芸大卒業後一度は就職したのですが、織物をやりたい気持ちが残っていて何かできないか探していました。そんな時、恩師に知花花織の復興事業を教えてもらって、自分が生まれた場所の織物である知花花織がやりたくてこの道を選びました。

親川 僕はただひたすらオリジナルの焼物がやりたかった。だから作風に沖縄市の風土が直接影響しているとは言えない。でも、那覇で生まれていたら、はたして今の仕事をしていただろうかと時々考えます。コザンチュ*だから、小さい頃から外国人とも付き合いがあって感覚がオープンなわけ。コザでは先輩とも友だちみたいに付き合えるし、若い人もあまり叱られない。フラットさがコザの風土で、僕がオリジナル作品を作りたいと思った感覚もコザンチュじゃなかったら培われなかったかもしれない。自由な空気の中で育ったことは、僕の作品と無関係ではないよ。

金城 私も組合に勤めてはいますが、自由にやらせてもらっています。絵画展に作品を出すためにあまり組合の仕事を手伝えない時も、周りは「花音ちゃん頑張って」とすごく応援

知花花織作家

金城 花音

●きんじょう かのん●県立芸術大学美術工芸学部卒業後、一度は別の道に進むも、地元沖縄市の伝統工芸品「知花花織」を学ぶため、市の知花花織後継者育成事業に研修生として参加。全国から工芸作品が集まる新匠工芸会展で、2022年・2023年に入賞。沖縄市出身。

してくれるんです。理事長も「好きにやりなさい」と励ましてくださって、そういうのはきっと親川先生が育った頃のコザと変わらないんだろうなと思っています。ただ、私が作るものは建築物やステンドグラスなどからインスピレーションを貰っているせいか、西洋風であまり沖縄っぽくはないんですよ。

親川 それがコザで作る知花花織になると思うよ。僕も作品を作る時に沖縄市らしさは意識しない。だけど、コザンチュの僕が一生懸命作ったものはどうしても他の地域にない作品になる。金城さんもコザンチュだからヨーロッパ的なデザインを取り入れる発想が生まれるのかもしれないね。

工芸への思い

親川 2001年頃、僕は行政と連携を取って、沖縄市の工芸をアピールするため沖縄市工芸産業振興会を立ち上げ、沖縄市工芸フェアを開催した。当時の市内のシャッター街問題と

も絡めて、中央パークアベニューを歩行者天国にしてまちおこし的な開催になったんですよ。市外の工芸家にも協力してもらいマスメディア等でPRして、沖縄市にとにかく足を運んでもらおうと頑張った。沖縄市に工芸を根付かせたいと、石川県金沢の卯辰山工芸研究所に視察に行ったり、工芸シンポジウムを開催したときに副館長を招いて講演をしてもらったりした。

金城 工芸フェア、始まりはそんな感じだったんですね。私は今は知花花織を売るよりもとにかく広めたいです。

親川 商いとしての工芸は地域産業ということだから、それも一つの在り方。伝統工芸でしっかり技術を支え伝えていくことが大事です。でも理想に頑なな作家も必要。

金城 売りたいのは山々なんです。ただ、知花花織は、王家に献上するためではなく、家族や大事な人に贈る実用的なものでした。健康でいてほしいとか、無事に帰ってきてほしいとか、願いを込めていたと思い

ます。私もそのマインドはずっと持ち続けなきゃと思っています。気持ちを入れて作っています。

親川 一番大切なのは自分が何を思っ作品を作るのか。手づくりの工芸がマイナーになり地域の特徴が失われたとき、初めて伝統がいかに大事だったか気づく時代が来るかもしれない。だから僕たちは今一生懸命ものを作るんです。

これからの50年に向けて

親川 焼物を始めて今年で50年になりますが、一言でいえば「耐え忍んだ50年」。師匠を持たず全て手探りで始めたから研

究期間が長かった。賞を貰っても自分自身としてはまだ一人前じゃないんですよ。この20年でやっと一人前になったかなという感じ。今はもう楽しくて仕方ない。窯を開ける度にほぼ満足しているし、作ることが楽しいです。

金城 私は「人間国宝」になりたい。というのは言いすぎですけど、そこを目指していれば高みに行けるはず。これからもすごく悩むし葛藤するでしょうけど、作りたいものを作れば満足で、人の評価は考えず、自分が生きた証を残したいです。

親川 これからの世代は、50年前と同じではだめだと思う。国際的な感覚を持ち、世界の織物をよく見て分析し、皆で話し合って新しい知花花織を作る。それができるのは若い人、未来を担っている君たちだよ。

金城 ものづくりの職人は孤独ですけど、私の体には今、親川先生の言葉が浸透しています。そのおかげで、これから私が一人で作っていくとしても、後ろには同じように頑張っていた人たちもいるし、親川先生もいるし、一人で作っても一人じゃない。支えてもらっているという意識でこれからも作れると思います。

※コザンチュ…コザ市出身者。沖縄市はコザ市と美里村が合併して誕生した。

陶芸家

親川 唐白

●おやかわ とうはく●沖縄市山内の窯元「唐白窯」を拠点に活動。三島手技法に、黒い釉薬を併用した独自の技法「琉球花三島」を生み出した。作品は世界的に高く評価され、国内外で数々の賞を受賞。沖縄県認定工芸士、沖縄審査員、創造展審査員。パオオ生まれ、沖縄市育ち。

これまでの50年
これからの50年

50周年記念特別対談

未

来

を

創

る

若

者



文

化

を

築

い

た

先

輩

2

撮影協力：知花花織事業協同組合





写真で見る

沖縄市営闘牛場

今と昔、沖縄市

沖縄市は、本土復帰後の1974年に、コザ市と美里村が合併して誕生しました。この50年間でまちは成長と発展を続け、その風景は大きく変貌を遂げました。



沖縄アリーナ

県内最大の
多目的アリーナ
沖縄アリーナ

Okinawa Arena

収容人数約4,000人を誇った沖縄市営闘牛場は、のちにエイサーや音楽イベントなどを開催する沖縄市野外ステージとして活用されていましたが、2017年に解体され、2021年に1万人収容可能な県内最大規模の沖縄アリーナが開業しました。沖縄アリーナは、イベントやスポーツ、展示会など様々な用途に活用され、地域の活性化に大きく貢献しており、沖縄市のランドマークとなっています。

Sun Sun Street



当時のサンサン通り
(国道330号コザ信金～胡屋十字路付近／
沖縄市誕生市民祭典)



現在のサンサン通り
(国道330号コザ信金～胡屋十字路付近)

沖縄市の大動脈
サンサン通り

(国道330号コザ信金～胡屋十字路付近)

市民の経済活動と日常生活を支える重要な幹線道路、国道330号。この道路は、市内の主要商業施設が建ち並ぶ活気あふれるエリアで、市の発展と共にその姿を変えてきました。中でも特に、コザ信金から胡屋十字路までの区間は、1974年11月に開催された沖縄市誕生を祝う市民祭典の舞台となり、のちにサンサン通りと名付けられました。50年の歳月を経てもなお、サンサン通りにはその時代の面影を残す建物が点在しています。

Awase Area



泡瀬地区を望む



市庁舎から見る泡瀬地区

困難な歴史を乗り越え、
発展したエリア
泡瀬地区

戦後、泡瀬一帯は米軍に占領され、1970年までに大半が返還された際、道路は破壊され土地の境界も不明確でした。そのため、土地の区画整理が1978年に始まり、1986年に竣工しました。現在は、泡瀬地区において、ビーチフロント観光地を目指す「東部海浜開発地区(潮乃森)」の整備に取り組んでいる注目エリアです。

1974 昭和49年

4.1 沖縄市開庁

コザ市と美里村が合併して「沖縄市」が誕生。
沖縄市役所(旧コザ市役所)にて開庁式が行われました。



4.1 初代市議会議長に玉城克也氏が就任

5.12 初代沖縄市長に 町田宗徳氏が就任

沖縄市になって初めて行われた市長選挙では、
町田宗徳氏が当選し、初代市長に就任しました。



9.8 沖縄全島エイサーコンクール開催

沖縄市発足後初の
沖縄全島エイサーコンクール
が市営陸上競技場で開催され、
平安名青年会が優勝しました。



9.28 第2代 市議会議長に玉城克也氏が就任
10.18 沖縄市文化協会 発足
10.26 市民憲章、国際文化観光都市宣言、市民の花、市民の木 制定
11.3 沖縄市誕生市民祭典

11.3 豊中市と 兄弟都市宣言

市と大阪府豊中市は兄弟都市を宣言し、町田宗徳
沖縄市長と下村輝雄豊中市長が
列席して調印式を行いました。



1975 昭和50年

1.15 第1回沖縄市成人式

沖縄市になって初の成人式が開催され、約600
人の新成人が参加。市役所では新成人に市長を
交えた座談会も行われました。



2.21 総合計画審議会発足(市長の諮問機関)
3.26 第3代 市議会議長に高江洲栄氏が就任
4.1 沖縄市市制施行1周年記念式典
7.7 沖縄市教育研究所を設置

11.28 一番街アーケード落成式

「見る街、買う街、憩いの街」をキャッチフレーズに
県内初のアーケードカラー塗装の一番街が完成。



1976 昭和51年

1.16 沖縄市赤十字奉仕団発足
4.1 100トンごみ処理施設落成式
4.13 室川小学校開校・室川幼稚園開園
9.18 沖縄市民憲章推進協議会結成
10.13 米軍基地給水契約
10.16 沖縄市養鶏団地落成式
10.27 室川小学校校舎落成式
11.12 沖縄市葬斎場落成式
12.11 沖縄市養豚団地落成式

1977 昭和52年

4.1 沖縄こどもの国水族館 開館式
4.16 沖縄市武道場・ソフトボール場落成式
7.1 働く婦人の家開館

7.23 沖縄こどもの国に 動物園が開園

沖縄こどもの国に
動物園が完成。
従来の動物に加え、
灰色カンガルー、
キョン、エランドな
ど13種25頭の新しい動物が加わりました。



8.21 集中豪雨で4,360万円超の被害
9.4 第22回 沖縄全島エイサーまつり
*コンクールからまつりへ変更／
道じゅねー実施

12.15 第1回沖縄市産業まつり開催

市の産業を広く紹介しようと、第1回産業まつり
が市営体育館で3日間開催され、約7,000人の
人々が訪れて大盛況となりました。



1978 昭和53年

5.12 第2代 沖縄市長に桑江朝幸氏が就任

5.14 集中豪雨で81軒が 床上浸水の被害

市一帯で集中豪雨があり、中の町、胡屋、住吉、
古謝、泡瀬二区などで
床上浸水、床下浸水、サ
トウキビ畑冠水などの
被害がありました。



6.25 東自治会誕生祝賀会
9.28 第4代 市議会議長に比嘉久富氏が就任

10.28 銀天街アーケード落成式

従来のコザ十字路商店街のアーケードカラー塗
装が完了し、名称も新たに「銀天街」としてス
タートしました。



11.15 沖縄市救急診療所開所式

1979 昭和54年

4.1 沖縄市市制施行5周年記念市民祭典
11.1 住居表示制度開始
11.22 かりゆし園に機能回復訓練施設オープン

1980 昭和55年

3.28 沖縄市立美里給食センター竣工
(第一調理場)
3.31 泡瀬の京太郎が沖縄県指定文化財に
指定
8.31 25周年記念全島エイサーまつり開催
9.12 昭和62年開催の国体主会場が泡瀬に
決定
9.29 沖縄市立中央公民館 設置

1981 昭和56年

1.10 沖縄市民会館落成

沖縄市民会館が、2年3
か月間の工事を終え、当
時の最新技術と設備を
備えて完成。落成記念式
典が挙行されました。



4.1 中部広域市町村圏協議会発足
4.7 安慶田中学校開校式

1982 昭和57年

2.4 広島東洋カープ初キャンプ

広島東洋カープ初の沖縄市キャンプには古葉監督
をはじめ、山本浩二、高橋慶彦、衣笠祥雄らの主力選
手が参加。市営球場などで連日汗を流したほか、少
年野球チームを集めた野球教室も開かれました。



3.31 登川市営住宅完成
5.21 第3代 沖縄市長に桑江朝幸氏が就任
9.28 第5代 市議会議長に比嘉久富氏が就任

10.19 10万人目の市民誕生

美里村とコザ市の合
併で沖縄市が誕生し
てから8年、この日、
出生届が出された女
の子が10万人目の
市民となりました。



12.12 美里小学校創立100周年記念式典
12.18 越来小学校創立100周年記念式典

1983 昭和58年

3.4 沖縄市老人福祉センター、沖縄市保健
相談センター落成式
3.26 沖縄市立学校給食センター第三調理場竣工
3.31 農民研修センター落成式
6.27 八重島配水池完成
8.1 沖縄市在住外国人に国民健康保険適
用開始
8.21 第1回 ピースフルラブ・ロックコン
サート
9.13 沖縄市下水道事業20周年記念式典

1984 昭和59年

4.21 沖縄市市制施行10周年記念式典

4.21 沖縄市文化センター オープン

図書館、郷土博物館、
芸能館を併設した沖
縄市文化センター
が、旧琉米親善セン
ター跡地にオープン
しました。



5.16 沖縄市シルバー人材センター設立
6.16 沖縄市婦人防火クラブ結成
7.4 「海邦国体」昭和62年沖縄開催正式決定
10.26 沖縄市市制施行10周年記念都市シン
ボジウム

1985 昭和60年

1.26 第1回沖縄市福祉まつり開催
4.6 宮里中学校開校

4.28 中央パークアベニュー 落成

BC(Business
Center)ストリー
トが広い歩道と
アーケードを備え
た中央パークアベ
ニューに生まれ変
わりました。



海外・国内・県内の主なできごと

1974 (昭和49年)
【海外】5月 インドで核実験
【国内】10月 巨人軍、長嶋茂雄選手引退
【県内】3月 那覇市小禄で不発弾爆発事故。幼稚園児
らが死傷
4月 大宜味村喜如嘉の芭蕉布が重要無形文化
財に指定
8月 那覇市首里山川―県庁北口間にバス専用
レーンができる

1975 (昭和50年)
【海外】4月 ベトナム戦争終結
【国内】5月 イギリス・エリザベス女王夫妻訪日
【県内】5月 名護―石川間に沖縄自動車道開通
7月 沖縄国際海洋博覧会(本部町)開幕
1976 (昭和51年)
【海外】7月 南北ベトナム統一。国名をベトナム社会
主義共和国に改称
【県内】1月 沖縄国際海洋博覧会閉幕

1977 (昭和52年)
【県内】1月 第1回全国伝統工芸品展で琉球絨が総理
大臣賞を受賞
3月 ノグチゲラ、イリオモテヤマネコ、カンム
リワシが国の特別天然記念物に指定
1978 (昭和53年)
【国内】5月 新東京国際空港(成田)開港
【県内】7月 車の対面交通方法変更(ナナサンマル)。
「人は右、車は左」

1979 (昭和54年)
【国内】6月 第5回サミット、初の東京開催
7月 ソニー「ウォークマン」第1号発売
【県内】10月 琉球大学医学部設置
1980 (昭和55年)
【海外】8月 ソ連の原子力潜水艦、沖縄近海で火災事故
9月 イラン・イラク戦争勃発
【国内】11月 巨人軍の王貞治選手が現役を引退

1981 (昭和56年)
【国内】8月 気象衛星「ひまわり2号」の打ち上げに成功
【県内】12月 ハンビー飛行場(北谷町)返還
1982 (昭和57年)
【国内】2月 東京都赤坂のホテルニュージャパンで火災発生
【県内】2月 国頭村安波の普久川ダム完成
1983 (昭和58年)
【国内】4月 東京ディズニーランド(浦安)開園
【県内】2月 厚生省による初の遺骨収集作業開始

1984 (昭和59年)
【国内】11月 新札発行(1万円、5千円、千円)
【県内】1月 本島北部で発見された新種の昆虫を
「ヤンバルテナゴコガネ」と命名
5月 通産省が「琉球紅型」を伝統的工芸品に指定
1985 (昭和60年)
【国内】8月 日航ジャンボ機が群馬県の御巣鷹山に墜落
【県内】3月 「琉球陶器」の金城次郎氏、県内初の人間
国宝に

1985

昭和60年

6.20 核兵器廃絶
平和都市宣言

終戦40年の節目に桑江朝幸市長が「核兵器廃絶
平和都市宣言」を行い、平和の確立に全力を傾け
ることを誓いました。



8.10 ピースフルラブ・
ロックフェスティバル開催

第3回ピースフルラブ・ロックフェスティバルが市
営球場で開催。以後、沖縄市を中心に開催され、夏
を彩る名物イベントとして定着しました。



12.30 安慶田小学校創立40周年

1986

昭和61年

3.28 第6代 市議会議長に花城康明氏が就任
5.1 第4代 沖縄市長に桑江朝幸氏が就任

6.10 野外ステージ
(闘牛場) オープン

沖縄市野外ステージ
(闘牛場)完成。ピースフ
ルラブ・ロックフェス
ティバルなどに活用さ
れるようになりました。



9.29 第7代 市議会議長に照屋武一氏が就任

1987

昭和62年

2.7 コザ小学校40周年記念式典
3.15 島袋小学校40周年記念式典

3.28 沖縄市立ふるさと園
オープン

沖縄の風俗や歴史を学んでもらうことを目的
に、沖縄独自の建築様式で建てられた民家を移
築した「ふるさと園」が、沖縄こどもの国に完成
しました(現在は国指定登録文化財に指定)。



5.2 県総合運動公園開園

県総合運動公園の開園セレモニーでは、晴天の
もと子ども会のエイサーや、婦人会による踊り
「国体音頭」が披露され、花を添えました。



8.3 第1回 沖縄市・東海市中学生交流
(7日迄)

10.25 第42回国民体育大会
秋季大会「海邦国体」開催

沖縄復帰15周年と全国一巡が完了する大会と
して注目された海邦国体が、県総合運動公園陸
上競技場をメインに開催されました。



11.14 第23回全国身体障害者スポーツ大会
「かりゆし大会」開催

1988

昭和63年

3.12 働く婦人の家10周年記念式典
3.26 山内区画整理事業竣工記念式典
6.18 沖縄市水道事業30周年記念式典
7.2 沖縄市青少年センター創立15周年記
念式典
7.26 中部広域圏・最上広域圏姉妹締結
11.26 美里中学校創立40周年記念式典
12.1 沖縄市観光協会創立20周年記念式典

1989

昭和64年
平成元年

1.1 市総合庁舎建設計画を策定
1.1 東部海浜開発局を設置
4.1 沖縄市市制施行15周年記念式典
4.12 コザ自治会が嘉間良自治会に名称変更

4.12 かりゆし交流センター開所

自然とふれあい、人間性豊かな思いやりのある
心を育む場として、かりゆし交流センターが開
所しました。



7.30 久保田市営住宅完成
9.3 新美里自治会館落成式典
11.18 北美小学校校舎改築記念式典創立40周年

1990

平成2年

3.23 自治省の「活力あるまちづくり」で沖
縄市が表彰
4.1 沖縄こどもの国に沖縄アイランドパー
クオープン
4.1 中の町自治会館完成
4.1 比嘉自治会が久保田自治会に名称変更
4.5 美原小学校開校式
5.1 第5代 沖縄市長に新川秀清氏が就任

8.25 第1回世界の
ウチナアンチュ大会
沖縄市出身者歓迎会

世界のウチナアンチュ
大会に出席する市出身
の海外在住者を歓迎し
て、「沖縄市体験デー」と
「歓迎レセプション」が
盛大に開催されました。



9.28 第8代 市議会議長に屋我平和氏が就任

1991

平成3年

1.1 市在宅介護支援センター開設
3.14 山内保育所開所式
3.29 大里配水池完成
7.21 移動図書館・知恵蔵君事業開始

8.4 広島へ初の親子平和大使を派遣
9.28 沖縄市宮里の渡名喜元完さん(106歳)
が長寿男性日本一に
9.30 泡瀬公民館完成
11.25 県内初のローマ字併記住居表示板取
り付け開始
11.28 第1回沖縄市ファッションタウン・
ファッションショー開催

1992

平成4年

1.17 平和モニュメント
除幕式

平和を求める手が天に向かって伸びている様子
を表した平和モニュメントが市営運動公園に完
成。除幕式が行われました。



4.1 沖縄市公共施設管理公社設立
4.20 沖縄職業訓練短期大学校開校
(現・沖縄職業能力開発大学校)
8.1 山形県金山町より新庁舎内装用の金
山杉(樹齢200年)が届く
8.16 長崎県への親子平和大使派遣
11.6 沖縄市初・県下2人目の救急救命士
(高江洲盛一消防士長)誕生

1993

平成5年

2.19 沖縄こどもの国開園20周年記念式典

3.7 第1回
おきなわマラソン開催

42.195kmのフルマラソン大
会、第1回おきなわマラソンが
開催され、約6,000人のラン
ナーがエントリーして一斉にス
タートをきりました。



4.1 市民平和の日(9月7日)を制定
4.5 泡瀬小学校開校・泡瀬幼稚園開園

4.8 市役所新庁舎落成式

「文化と美、市民の心をくみ入れた市民に開かれ
た庁舎」を基本テーマにした新庁舎が落成しま
した。



4.9 美原幼稚園開園
9.7 「沖縄市民平和の日」制定記念式典

11.6 第1回沖縄国際カーニバル
開催

「人・文・遊園」をテーマとし
た沖縄国際カーニバルが、
胡屋十字路口域とコザ十字
路地域で開催され、国際大
綱引きなどで盛り上がりまし
た。



11.29 沖縄市青少年センター落成式

12.19 元沖縄市長
桑江朝幸氏市葬

沖縄市長を3期12年務め、市の発展に多大な貢
献をされた桑江朝幸氏の市葬が、市営体育館で
執り行われました。5,000人以上が参列し、別れ
を惜しまました。



海外・国内・県内の主なできごと

1985 (昭和60年)
【県内】 5月 ヤンバルテナガコガネ、国の天然記念物に指定
12月 第1回N A H Aマラソン開催
1986 (昭和61年)
【海外】 4月 ソ連、チェルノブイリ原発事故発生
【県内】 2月 海洋博公園熱帯ドリームセンター(本部町)
開園
2月 通産省が「琉球漆器」を伝統的工芸品に指定
4月 沖縄県立芸術大学開学

1987 (昭和62年)
【海外】 7月 世界の人口50億人を突破
【県内】 10月 沖縄自動車道が全線開通(那覇―許田開通)
1988 (昭和63年)
【海外】 8月 イラン・イラク戦争終結
【国内】 3月 世界最長の海底トンネル「青函トンネル」開通
4月 瀬戸大橋開通
【県内】 8月 夏の甲子園大会で、沖縄水産高校がベスト
4進出

1989 (昭和64年・平成元年)
【海外】 6月 中国天安門事件
11月 ベルリンの壁崩壊
【国内】 1月 昭和天皇崩御、新元号「平成」施行
4月 一律3%課税の消費税導入
【県内】 6月 ひめゆり平和祈念資料館(糸満市)開館
4月 沖縄県産業振興公社設立
11月 首里城正殿起工式
11月 第1回「ツール・ド・おきなわ」開催

1990 (平成2年)
【海外】 8月 イラク軍がクウェート侵攻
10月 東西ドイツ統一
【国内】 11月 天皇陛下「即位の礼」(元・上皇陛下 明仁さま)
【県内】 2月 県内初の美術館「浦添市美術館」開館
4月 バイン缶詰・果汁など輸入完全自由化
6月 沖縄全戦没者追悼式に海部俊樹首相出席
(歴代首相初)
8月 第1回世界のウチナアンチュ大会開催

1991 (平成3年)
【海外】 1月 湾岸戦争勃発(イラクへ多国籍軍が攻撃開始)
【国内】 2月 長崎県・雲仙普賢岳で火砕流発生
【県内】 4月 県立沖縄看護学校開校
6月 沖縄セルラー電話(株)設立
1992 (平成4年)
【国内】 7月 パルセロナ夏季五輪で中学2年生の岩崎
恭子選手が水泳で金メダル
【県内】 5月 沖縄復帰20周年記念硬貨発行

9月 学校週5日制スタート
11月 首里城正殿が復元される。主要施設が
首里城公園として一部開園
12月 宮古・八重山地区で民放テレビ放送開始
1993 (平成5年)
【海外】 2月 N Y貿易センタービル爆弾テロ
【国内】 5月 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)開幕
【県内】 1月 NHK大河ドラマ「琉球の風」放映開始
4月 全国植樹祭で天皇・皇后夫妻が初来沖

1994 平成6年

- 2.6 国際児童・青少年演劇フェスティバル
おきなわキジムナーフェスタ開催
- 4.1 沖縄市市制施行20周年記念式典

4.1 山形県米沢市と 姉妹都市提携

これまでさまざまな交流があった山形県米沢市と姉妹都市提携を結ぶことになり、市制施行20周年を迎えた本市で新川秀清市長と高橋幸翁米沢市長が調印式を行いました。



- 4.8 市内初の児童館「あげだ児童館」落成式
- 5.12 第6代 沖縄市長に新川秀清氏が就任
- 7.1 乳幼児医療費助成制度開始
- 8.19 市民ふれあい農園開園
- 9.28 第9代 市議会議長に瑞慶山良高氏が就任
- 11.8 市民憲章制定20周年記念式典

1995 平成7年

- 2.3 第1回沖縄市生涯学習フェスティバル開催
- 3.24 高原配水池完成
- 9.16 沖縄市文化協会創立40周年記念式典

1996 平成8年

- 3.31 倉敷ダムオープニングフェスティバル
- 4.5 沖縄東中学校開校
- 6.29 沖縄市青少年育成市民会議の設立大会

9.24 スポーツコンベンション シティ宣言

地域に根ざしたスポーツ活動を通して、健康で豊かな心とからだを育て、活気と共感に満ちたスポーツ交流のまちづくりをめざし「スポーツコンベンションシティ」を宣言しました。

(写真) 2005年2月1日スポーツコンベンションシティ宣言記念碑建立



- 10.6 第1回港まつり in 泡瀬開催
- 11.7 第1回クリーンデイ in 沖縄市実施

1997 平成9年

- 1.14 市民小劇場の名称が「あしびなー」に決定
- 2.26 倉浜衛生施設組合の一般廃棄物最終処分場完成
- 3.19 沖縄市が毎日・地方自治大賞奨励賞受賞

4.30 パヤオ直売店完成

広大な太平洋に面した市の水産業発展に一役買おうと、パヤオ直売店がオープンし、市内外から多数のお客さんが訪れました。



- 11.20 第1回沖縄市戯曲大賞
- 11.28 コリンザオープン

1998 平成10年

- 1.17 沖縄市陸上競技場トレーニングルーム完成
- 4.3 沖縄市産業交流センター落成記念式典
- 5.12 第7代 沖縄市長に仲宗根正和氏が就任

5.17 沖縄市民小劇場 「あしびなー」オープン

芸術・芸能を育成・発信する拠点として、沖縄市民小劇場「あしびなー」がコリンザ3階にオープン。初代館長に笑楽過激団の玉城満氏が就任しました。



- 9.28 第10代 市議会議長に新里八十秀氏が就任
- 11.1 第1回沖縄市子ども文化芸能まつり開催
- 11.1 泡瀬まつり31年ぶりに大綱引きが復活

1999 平成11年

- 3.19 新沖縄市立給食センター第一調理場完成
- 3.27 沖縄市地域振興券交付
- 4.1 胡屋あけぼの保育所・支援センター完成
- 4.3 沖縄市市制施行25周年記念式典
- 4.14 八重島第2配水池完成
- 5.30 沖縄市サッカー場オープン
- 6.9 第1回コザ音楽祭開催
- 6.26 第1回倉敷ダムまつり開催

12.7 元コザ市長 大山朝常氏市葬

コザ市長を4期16年務め、困難な時代に沖縄市の土台を築いた大山朝常氏が97歳で死去。約3,000人が列席して市営体育館で市葬が営まれました。



2000 平成12年

- 1.26 沖縄市テレワークセンター開所
- 5.9 沖縄市消防署山内出張所落成式典
- 6.1 沖縄市福祉文化プラザオープン

8.2 島袋正雄氏人間国宝認定

三線の演奏家で野村流音楽協会会長も務めた島袋正雄氏が、琉球古典音楽の国指定重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。



- 8.23 知花花織作業所オープン

2001 平成13年

- 3.3 室川小学校新校舎改築記念式
- 6.8 沖縄市基幹型在宅介護支援センター開所式
- 9.10 沖縄市陸上競技場が財団法人日本オリンピック委員会より陸上競技強化センターに認定

10.7 第1回きらめきフェスタ 2001開催

老若男女がお互いの人権を尊重し合い、平和な男女平等社会の実現を目指す沖縄市男女共同参画計画「ひと・きらめきプラン」を作成し、きらめきフェスタを開催しました。



2002 平成14年

1.16 米国ワシントン州 レイクウッド市と 姉妹都市提携

市にとって初めての海外姉妹都市として米国ワシントン州レイクウッド市と提携を結び、仲宗根正和市長らが同市を訪れて提携盟約書に調印しました。



- 4.1 沖縄市情報公開制度スタート
- 4.6 沖縄市ゆらていく広場(銀天街商店街)オープン
- 5.12 第8代 沖縄市長に仲宗根正和氏が就任
- 10.1 第11代 市議会議長に浜比嘉勇氏が就任
- 10.27 美東小学校創立100周年記念式典

11.22 第1回沖縄市工芸フェア 開催

市内外の工芸品を一堂に集めた工芸フェアが、中央パークアベニューなどを主会場に開催されました。



2003 平成15年

- 4.1 沖縄市ファミリーサポートセンター開設
- 4.11 沖縄市ITワークプラザ開所式
- 6.3 美里酪農団地堆肥化施設落成式
- 6.22 新泡瀬第三自治会館落成式典

2004 平成16年

- 2.28 北美小学校校舎改築記念式典
- 4.1 沖縄市個人情報保護条例施行

4.15 沖縄こども未来ゾーン オープン

動物園と子ども博物館を融合させた日本初の施設、沖縄こども未来ゾーン(新生・沖縄こどもの国)がオープンしました。



- 4.28 沖縄市市制施行30周年記念式典
- 6.30 沖縄市役所美里出張所廃止
- 10.26 沖縄市民憲章制定30周年記念式典

海外・国内・県内の主なできごと

- 1994 (平成6年)**
 - 【国内】9月 関西国際空港開港
 - 11月 税制改革関連法成立、消費税5%に
 - 【県内】4月 名桜大学(名護市)開学
- 1995 (平成7年)**
 - 【海外】1月 世界貿易機構(WTO)発足
 - 【国内】1月 阪神・淡路大震災発生
 - 【県内】6月 戦後50年事業「平和の礎」(糸満市)完成
 - 8月 県立公文書館(南風原町)開館

- 1996 (平成8年)**
 - 【国内】12月 原爆ドームが世界遺産に登録される
 - 4月 普天間飛行場返還で日米が合意
 - 【県内】9月 基地問題で全国初の県民投票
- 1997 (平成9年)**
 - 【国内】4月 消費税3%から5%に引き上げ
 - 【県内】7月 県立武道館(那覇市)落成
 - 11月 サッカーW杯(フランス)の日本初出場決定
 - 12月 沈没した「対馬丸」の船影が発見される

- 1998 (平成10年)**
 - 【海外】5月 インド・パキスタンが核実験強行
 - 8月 北朝鮮がテポドン1号発射、日本を越え太平洋上に着弾
 - 【国内】2月 長野冬季五輪開催
 - 4月 明石海峡大橋開通
 - 10月 金融再生法成立
 - 【県内】2月 那覇市立「壺屋焼物博物館」開館

- 1999 (平成11年)**
 - 【国内】9月 茨城県東海村の核燃料加工会社で国内初の臨界事故発生
 - 【県内】4月 春の甲子園で沖縄尚学高校が県勢初優勝
 - 5月 漫湖がラムサール条約に登録される
 - 8月 沖縄山形屋(那覇市)閉店
- 2000 (平成12年)**
 - 【国内】4月 介護保険制度開始
 - 【県内】7月 守礼門デザインの2千円札発行

- 2001 (平成13年)**
 - 【海外】9月 米国同時多発テロ発生
 - 【県内】4月 NHK朝の連続ドラマ「ちゅらさん」放送開始
- 2002 (平成14年)**
 - 【県内】4月 市町村合併により久米島町誕生、豊見城は村から市に昇格
 - 7月 第1回沖縄平和賞にベシャワール会
 - 11月 「沖縄美ら海水族館」開館

- 2003 (平成15年)**
 - 【国内】4月 日本郵政公社誕生
 - 4月 新型肺炎「SARS」流行
 - 【県内】8月 沖縄都市モノレール「ゆいレール」が開業
- 2004 (平成16年)**
 - 【国内】11月 1万円札・5千円札・千円札を20年ぶりに刷新
 - 【県内】1月 「国立劇場おきなわ」(浦添市)開場
 - 4月 琉球大学に法科大学院設置
 - 12月 国内初の空港外大型免税店DFSギャラリアが開業

2005

平成17年

1.6 人口13万人達成

2.21 泡瀬の京太郎(チョンダラー) 国選択無形の民俗文化財に

明治39年に首里の寒水川芝居の役者であった人から泡瀬の青年たちが受け継いだとされる泡瀬の京太郎が、文化庁によって選択されました。



4.15 沖縄市中央公共駐車場オープン

5.11 沖縄市シルバーワークプラザ開所式

7.23 第1回国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ「キジムナーフェスタ2005」開催

9.7 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」オープン

パルミラ通りに沖縄市(コザ)の戦後史が一目でわかる戦後文化資料展示室「ヒストリート」を開設。オープニングセレモニーが行われました。



11.12 沖縄市武道場・沖縄市弓道場落成式

2006

平成18年

4.18 沖縄市消防署泡瀬出張所落成式

5.11 中部農連市場第3売場落成式

5.12 第9代 沖縄市長に東門美津子氏が就任

9.8 沖縄全島エイサーまつりが地域伝統芸能大賞を受賞

9.29 第12代 市議会議長に喜友名朝清氏が就任

12.3 胡屋十字路の歩道橋を撤去

2007

平成19年

4.27 沖縄市陸上競技場メインスタンド落成式典

6.13 エイサーのまち宣言

エイサーの継承発展を図るとともに、青少年の健全育成や地域活性化に役立てることを目的として、「エイサーのまち」宣言を行いました。



6.30 胡屋十字路をスクランブル交差点に切り替え

7.27 コザ・ミュージックタウン オープン

ロック、民謡、ジャズなど、市の音楽文化を資源にまちの活性化を図ろうと、コザ・ミュージックタウンがオープンしました。



11.9

JAおきなわ中部ファーマーズマーケット「ちゃんぶるー市場」オープン

12.15

沖縄市コミュニティバス運行実証実験開始

12.26

沖縄こどもの国に待望の象

沖縄こどもの国にインドから雄のラフル(琉人)君と雌のデビ(琉花)ちゃんの2頭のゾウが到着、こどもの国でゾウが公開されるのは2001年以来のことでした。



2008

平成20年

3.25 国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわキジムナーフェスタとミュージックタウン整備事業が文化庁長官表彰を受賞

4.3 比屋根小学校・幼稚園開校式

4.30 こどものまち宣言

こどもたちが元気にたくましく育つ環境づくりを目指し「こどものまち宣言」を行いました。



8.20 知花花織事業協同組合が創立

9.24

上与那原選手が 市民表彰を受賞

北京パラリンピック陸上男子マラソンで銀メダルを獲得した上与那原寛和選手が市民表彰を受賞しました。



2009

平成21年

1.23 沖縄市観光協会法人認可40周年記念式典

3.18 ミュージックタウン構想がイノベーション・ポリシー賞を受賞

3.31 一番街と銀天街が新・がんばる商店街77選に選定

9.7 沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリートⅡ」オープン

11.20 愛知県東海市と 姉妹都市提携

中学生の親善交流などを続けてきた愛知県東海市と正式に姉妹都市提携を結び、東南植物楽園で東門美津子沖縄市長と鈴木淳雄東海市長により提携調印式を行いました。



2010

平成22年

5.12 第10代 沖縄市長に東門美津子氏が就任

5.15

沖縄市体育館落成式

1973年に建てられた旧体育館の老朽化を受けて、建設を進めていた新沖縄市体育館が完成。「スポーツコンベンションシティ・沖縄市」の発展に寄与するため、市民に親しまれ利用しやすい施設として整備されました。



6.10 沖縄市中心市街地循環バス運行実証実験開始

7.28 県内で初めて美ら島総体開催

8.20 沖縄平和大使派遣20周年記念事業「2010沖縄市ピースフォーラム」

9.28 第13代 市議会議長に仲宗根弘氏が就任

2011

平成23年

1.13 沖縄市社会福祉センター・沖縄市男女共同参画センター完成記念式典

6.3 沖縄市市民活動交流センター開所式

7.25 沖縄市立ふるさと園、家屋 など国の有形文化財に登録

国の文化審議会は、市立ふるさと園の旧久場家住宅主屋など3件を有形文化財として登録しました。



8.1 沖縄市地域ブランド認定制度「コザスター」開始

2012

平成24年

6.13 胡屋十字路・中の町なかどおりエイサーモニュメント完成披露セレモニー

7.2 エイサーキャラクターのご当地ナンバープレート交付開始

7.25

「知花花織」 国の伝統的工芸品に指定

知花花織が経済産業省から国の伝統的工芸品に指定されました。



10.4 第14代 市議会議長に小浜守勝氏が就任

12.1 沖縄警察署新庁舎落成記念式典

2013

平成25年

2.11 沖縄県助産師会母子未来センター落成式

3.2 沖縄こどもの国で70年ぶりにニムハラシー開催

3.30 「ちゃんぶる〜沖縄市大使」 第1号琉球ゴールデンキングスの3選手に任命

市の魅力を発信する「ちゃんぶる〜沖縄市大使」に、琉球ゴールデンキングス所属で沖縄市出身の3選手を任命しました。



4.1 中心市街地循環バス本格運行

10.25 沖縄市立学校給食センター第三調理場完成

11.20 沖縄市防災研修センターがリニューアルオープン

11.24 沖縄市ITワークプラザがリニューアルオープン

海外・国内・県内の主なできごと

2005 (平成17年)
【国内】11月 歌舞伎がユネスコの世界無形文化遺産に登録
【県内】4月 2市2町が新設合併し、うるま市誕生
10月 市町村合併で宮古島市が誕生

2006 (平成18年)
【国内】3月 初代ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)で日本が優勝
【県内】6月 琉球王国尚家資料が戦後初の国宝に指定

2007 (平成19年)
【国内】4月 社会保険庁の調べにより年金記録漏れ5,000万件発覚
10月 郵政民営化

【県内】8月 集中豪雨で安里川氾濫
8月 中華航空機が那覇空港で爆発炎上
11月 沖縄県立博物館・美術館(那覇市)開館
12月 旧与那国家住宅(竹富町)が国の重要文化財に指定

2008 (平成20年)
【海外】9月 米大手証券会社リーマン・ブラザーズが経営破綻
【国内】4月 「後期高齢者医療制度」スタート

2009 (平成21年)
【国内】5月 裁判員制度施行
【県内】5月 bjリーグの「琉球ゴールデンキングス」が初優勝
9月 「琉球舞踊」国の重要無形文化財に指定される

2010 (平成22年)
【県内】4月 普天間基地県内移設反対県民大会に9万人
7月 美ら島総体開催
8月 興南高校が夏の甲子園で沖縄勢初の優勝、史上6校目の春夏連覇達成
11月 「組踊」がユネスコの無形文化遺産に

2011 (平成23年)
【国内】3月 東日本大地震発生
7月 女子サッカーW杯で「なでしこジャパン」優勝

【県内】8月 県内初の海底トンネル「那覇うみそらトンネル」開通
2012 (平成24年)
【国内】5月 東京スカイツリー開業
12月 山中伸弥京大教授、ips細胞でノーベル生理学・医学賞受賞

【県内】9月 沖縄科学技術大学院大学(OIST)開学
9月 米軍の新型輸送機オスプレイ配備反対県民大会に約10万1千人

2013 (平成25年)
【国内】1月 復興特別所得税導入(東日本大震災)
6月 「富士山」世界文化遺産に登録決定
【県内】3月 新石垣空港「南ぬ島」開港



2014 平成26年

2.11 沖縄市新野球場落成

市の新たなシンボルとしてリニューアルが進められていた野球場の工事が完了。「コザしんきんスタジアム」に生まれ変わりました。



2.22 沖縄市初のプロ野球オープン戦「広島東洋カープ対阪神タイガース」がコザしんきんスタジアムで開催

3.9 美里小学校新校舎落成式

3.23 海邦町自治会館落成式典

4.25 美里村屋が国の有形文化財に登録

戦前、美里地区の公民館として建てられた美里村屋が文科省の有形文化財に登録されました。



5.12 第11代 沖縄市長に桑江朝千夫氏が就任
5.29 沖縄市市民憲章制定40周年記念式典
8.12 沖縄市音楽資料館おんがく村開館
8.20 第1回沖縄市子ども議会開催
9.29 第15代 市議会議長に普久原朝健氏就任
11.9 沖縄市市制施行40周年記念式典

11.9 名誉市民表彰

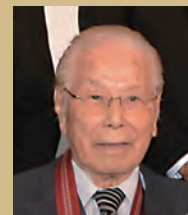
地域の発展に貢献し、その功績が顕著で市民から深く尊敬される4名の方に対して、沖縄市名誉市民の称号が贈られました。



大山朝常氏



中村哲二郎氏



島袋正雄氏



上与那原寛和氏

2015 平成27年

1.31 銀天街商店街壁面に巨大壁画「コザ十字路絵巻」完成

3.4 沖縄こどもの国のインドゾウの琉花が県内初・国内で10例目となる赤ちゃんゾウを出産

3.28 沖縄国際映画祭コザゲート通りレッドカーペット開催

4.27 琉球ゴールデンキングスのホームタウンを沖縄市に決定

プロバスケットボールチームの琉球ゴールデンキングスが、チームの活動拠点となるホームタウンを沖縄市にすると発表しました。



7.27 市民14万人突破

市の人口が14万人を突破し、市役所正面にある時計台に記念の懸垂幕が掲げられました。14万人目の市民となったのは、7月27日に出生届が提出された赤ちゃん6人でした。



11.3 第1回コザモータースポーツフェスティバル開催

沖縄サーキット建設の実現を目指し、市民や県民にモータースポーツの魅力を知ってもらうために、モータースポーツの総合イベントが開催されました。



2016 平成28年

4.1 沖縄市消防団長に久高清美氏が就任。県内初の女性消防団長誕生

8.5 創業・起業総合支援事業拠点施設「スタートアップカフェコザ」開所

10.28 第6回 世界のウチナーンチュ大会 沖縄市歓迎レセプション開催

11.22 沖縄市自治会加入促進協議会設立

2017 平成29年

2.25 広島東洋カープセ・リーグ25年ぶり優勝パレード IN 沖縄市開催

沖縄市で春季キャンプを行っている広島東洋カープのセ・リーグ制覇を記念した優勝パレードが華やかに行われました。



3.26 沖縄こどもの国にホワイトライオンが来園

九州初展示となるホワイトライオンの子ども「セラム」が東北サファリパーク（福島県二本松市）から沖縄こどもの国に寄贈されました。



5.3 沖縄市立図書館移転開館

新図書館は、ワンフロアの広さが九州最大規模。館内には自習室として利用できる「まなびの部屋」や読み聞かせルーム「おはなしの部屋」などを備えています。



6.18 エイサーのまち宣言10周年記念イベント「EISA-TEN」開催

7.18 上与那原寛和選手がロンドンで開催された陸上競技世界選手権大会の400mと1500mで銅メダル獲得

12.9 FIBAバスケットボールW杯共同開催地に本市が決定

スイスで開催されたFIBA中央理事会での決定を受け、日本バスケットボール協会の三屋裕子会長から桑江市長へ直接、本市での開催の正式決定が伝えられました。



2018 平成30年

3.25 エイサー会館オープン

エイサーの歴史や文化を発信する体験型施設「エイサー会館」が、コザ・ミュージックタウン内にオープンしました。



5.12 第12代 沖縄市長に桑江朝千夫氏が就任

8.8 ヒストリート移転開館

沖縄市の戦後文化を発信する沖縄市戦後文化資料展示館「ヒストリート」が、ゲート通りにリニューアルオープンしました。



9.28 第16代市議会議長に小浜守勝氏が就任
10.1 沖縄市子育て世代包括支援センター「結ば〜と」開設

10.21 初代沖縄市ナイトメイヤーにISSAさんが就任

2019 平成31年 令和元年

1.19 バレーボールVリーグ1部男子公式戦パナソニックパンサーズホームゲーム沖縄大会開催

1.20 こどものまち宣言10周年記念「こどもシンポジウム」開催

3.26 フランスバレーボール連盟と沖縄県と2020東京オリンピック事前キャンプに関する協定を締結

4.13 沖縄こどもの国ワンダーミュージアム開館15周年記念「ワンダーバースデー」(14日迄)

海外・国内・県内の主なできごと

2014 (平成26年)
【国内】4月 消費税5%から8%に引き上げ
【県内】3月 慶良間諸島が国立公園に指定
5月 沖縄県が国家戦略特区「国際観光拠点」に
9月 沖縄三越が閉店

2015 (平成27年)
【国内】3月 北陸新幹線が開業
9月 安全保障関連法案が成立
9月 日本人科学者2名がノーベル賞受賞
【県内】1月 宮古島と伊良部島を結ぶ伊良部大橋開通。無料で渡れる橋としては日本最長
4月 大型商業施設「イオンモール沖縄ライカム」が開業
10月 普天間飛行場の辺野古移設、国が着工

2016 (平成28年)
【国内】1月 マイナンバー(個人番号)制度施行
5月 オバマ米大統領が現職大統領として初の広島訪問
6月 改正公職選挙法施行、選挙年齢が18歳に引き下げられる
【県内】5月 うるま市で米軍属による女性殺害事件発生
6月 米軍属による女性殺害事件抗議県民大会に6万5千人

2017 (平成29年)
【海外】7月 国連、核禁止条約採択
【国内】7月 九州北部豪雨発生
【県内】3月 沖縄空手会館(豊見城市)開館
5月 石垣市の白保竿根田原洞穴遺跡で、国内最古の旧石器時代の人骨が発掘される
10月 農運市場(那覇市)閉鎖
10月 東村高江の民間地で米軍大型ヘリが炎上

2018 (平成30年)
【国内】7月 西日本豪雨発生
9月 北海道胆振東部地震発生
【県内】3月 浦添市西海岸道路開通
8月 第1回沖縄空手国際大会開催
9月 県出身の歌手・安室奈美恵さん引退
10月 新那覇バスターミナル始動
11月 「宮古島のパーントゥ」がユネスコ無形文化遺産に登録

2019 (平成31年・令和元年)
【海外】4月 ノートルダム大聖堂で大火災
【国内】5月 新元号「令和」施行
10月 消費税10%に引き上げ、軽減税率導入

2019

平成31年
令和元年

4.17 沖縄こどもの国に
ジャガーが来園

沖縄こどもの国に国内で14頭しか飼育されていない希少種のジャガー「ハク」が来園しました。



4.23 沖縄こどもの国
リニューアル計画第1弾
「新ライオン舎」完成

新ライオン舎は、ライオンの生育環境であるサバンナをイメージし、より自然環境に近い状況でたたずむライオンを360度回遊しながら、間近で観察することができます。



5.8 沖縄市創業支援拠点「STARTUP LAB Lagoon KOZA(スタートアップ ラボ ラグーン コザ)」がリニューアルオープン

6.21 越来グスクが国指定名勝
「アマミクヌムイ」に
追加指定決定

琉球創世の神アマミクが越来グスクを造ったと「おもろさうし」に歌われていることから、越来グスクがアマミクゆかりの地として評価されました。



11.15 沖縄市市制施行45周年式典・祝賀会

2020

令和2年

- 4. 沖縄市循環バス、運行を4ルートに拡充
- 4.1 沖縄市上下水道局開局
- 5.5 沖縄こどもの国開園50周年
- 5.17 銀天街地域活動交流拠点「銀天街プラザ」設置

11.30 沖縄全島エイサーまつり
65周年記念特別動画
「エイサーどんどん!」の
制作発表(エイサー会館)

沖縄全島に出場する青年会の成長と家族の絆を描いたヒューマンドラマ「エイサーどんどん!」の制作発表が行われました。



12.13 FC琉球、沖縄市ホームタウン10周年を記念し「沖縄市GOスペシャルマッチ」

2021

令和3年

1.20 キリンの赤ちゃん誕生

沖縄こどもの国でアミメキリンの夢(ゆめ)が、赤ちゃんを出産しました。のちに赤ちゃんの名前の公募が行われ「光(ひかり)」と名付けられました。



3.28 沖縄アリーナ
落成記念式典

スポーツやエンタメを中心に、多くの人々の利便性に重きを置いた施設「沖縄アリーナ」の落成記念式典が開催されました。1万人収容可能で県内最大の床面積を誇ります。



4.19 児童発達支援センター「沖縄市子ども発達支援センター」開所式

4.26 モータースポーツマルチ
フィールド沖縄落成式典

沖縄のモータースポーツの拠点となるべく、四輪車やバイクなどの競技会だけでなく、地域のイベントや自動車の試乗会など幅広い活用が期待されているモータースポーツマルチフィールド沖縄落成式典が開催されました。



5.1 東京2020オリンピック聖火リレー無観客開催で名護市民会館周辺を快走。沖縄市からは16人が参加

7.19 沖縄市ゼロカーボン
シティ宣言

持続可能な未来に向け、2050年までに二酸化炭素を実質排出ゼロとする「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言しました。脱炭素社会の実現を見据え、沖縄電力株式会社、株式会社リゅうせきとの緊密な連携・協力を図ることを目的に、包括連携協定を締結しました。



8.6 喜友名諒選手が東京2020オリンピックの空手男子形で県勢初の金メダル獲得

8.29 上与那原寛和選手が東京パラリンピック陸上男子400m(車いすT52)で銅メダル獲得

8.29 上与那原寛和選手が東京パラリンピック陸上男子1500m(車いすT52)で銅メダル獲得(沖縄県勢初の同一大会における複数メダル獲得)

2022

令和4年

2.9 喜友名諒選手に
名誉市民章

市の発展に貢献するとともに、空手会において偉大な業績を残し、市民から深く尊敬されている者として、東京オリンピック2020の男子空手形で県勢初の金メダルを獲得した喜友名諒選手に、名誉市民章と顕彰状が贈られました。



- 5.12 第13代 沖縄市長に桑江朝千夫氏就任
- 7.20 諸見調理場、55年の歴史に幕(市内唯一、学校敷地内調理場から給食を提供)
- 8.16 沖縄市立学校給食センター第2調理場落成式
- 9.28 第17代 市議会議長に瑞慶山良一郎氏就任
- 10.1 沖縄市立図書館来館者100万人突破

12.3 ブレイクダンス
世界最大級の国際大会
「BATTLE OF THE YEAR
2022 WORLD FINAL」開催

2024年パリ五輪の新種目に採用されたブレイクダンスの国際大会「Battle Of The Year World Final」が沖縄アリーナで開催され、世界各国から大勢のダンスファンが詰めかけました。



2023

令和5年

5.18 第132回九州市長会(19日迄/沖縄アリーナ)

8.1 「REF沖縄アリーナby
ベッセルホテルズ」が
オープン

コザ運動公園前のサッカー場跡地に県内初のパークPFIを導入した「REF沖縄アリーナbyベッセルホテルズ」がオープンしました。ホテルコンセプトは「THE CHANPURU」。



8.25 FIBAバスケットボール
ワールドカップ2023開催
(日本・フィリピン・インドネシア
共同開催/9月3日迄/沖縄アリーナ)

史上初の3か国共同開催(日本・フィリピン・インドネシア)となったFIBAバスケットボールW杯2023が、沖縄アリーナで開催され、日本は48年ぶりに自力でパリ五輪出場権を獲得しました。



2024

令和6年

4.1 沖縄市市制施行50周年

海外・国内・県内の主なできごと

2019 (平成31年・令和元年)
【県内】10月 首里城で火災発生。正殿をはじめ9施設が焼失
10月 沖縄都市モノレール、浦添延長区間での営業開始
11月 観光客1千万人突破

2020 (令和2年)
【海外】1月 中国、武漢で新型コロナウイルス発生
3月 WHO、新型コロナウイルスでパンデミック宣言
【国内】1月 中国からの帰国者に新型コロナウイルス感染者判明、国内初
4月 新型コロナウイルス感染症拡大で緊急事態宣言
【県内】2月 新型コロナウイルス感染者、県内で初確認
3月 那覇空港第2滑走路開業

2021 (令和3年)
【国内】2月 新型コロナワクチン接種開始
8月 東京五輪、日本が史上最多58メダル獲得
【県内】7月 沖縄・奄美、世界自然遺産に登録

2022 (令和4年)
【海外】2月 ロシアがウクライナに侵攻
【国内】4月 成年年齢を18歳に引き下げ
9月 西九州新幹線開業
【県内】5月 沖縄本土復帰50年

2023 (令和5年)
【県内】3月 新・牧志公設市場(那覇市)オープン
5月 琉球ゴールデンキングスがバスケットBリーグ初優勝
8月 ゆいレール20年記念日に3両化車両運行開始

2024 (令和6年)
【国内】1月 能登半島地震発生
【県内】2月 おきなわマラソン、4年ぶりに開催
4月 台湾東部沖地震で津波警報が発令され、混乱

沖縄市の銘品 市産品

伝統と革新が融合した数々の市産品は、沖縄市ならではの文化と個性を感じさせてくれます。地域の豊かな恵みと時代に合わせた新たな個性が詰まった逸品で、まちの新たな魅力を発信します。

新里 WHISKY 新里酒造

スコットランドのブレンドドウィスキーをベースに、樽貯蔵泡盛13年古酒をベースにしたスピリッツをブレンド。



ふるさと納税品

カフェオレの素 3種セット

(加糖・無糖・黒糖) 豆ボレボレ

焙煎技術を競う世界大会で2位を獲得した店主が作ったカフェオレの素。牛乳や豆乳で4〜5倍希釈するだけで、簡単に珈琲店のカフェオレが楽しめます。

ふるさと納税品



コザベークル

ZEBRA.Bagel(ゼブラドットベークル) ふわっともちりした食感が魅力で、時間が経ってもおいしさそのまま。様々なフレーバーがあります。

自家製 ハム・ソーセージ専門店 TESIO(テシオ)

ドイツ国際コンテストIFFA(食肉業界最大規模の国際見本市)で、出品したアイテム全てがメダルを獲得したTESIOの自家製ハム・ソーセージの詰め合わせ。

ふるさと納税品



コザビール コザ麦酒工房

素材やネーミングも沖縄にこだわって作られている特製ビール。自店で醸造・樽詰めし、地域に根差したローカルビールを提案。

ギリシャ風 マリネードチーズ

Cheeseanista(チーザニスタ)

ギリシャ風チーズのティリーを、沖縄県産乳とドライトマトと共にオイル漬けした逸品。世界最大級のチーズコンテストと日本のチーズコンテストの2大会で金賞を受賞!

ふるさと納税品



ハチミツ

小浜養蜂場

県内45カ所以上の養蜂場を持つコハマが作る原液100%のハチミツ。着色料・保存料不使用の自然の甘さが魅力。

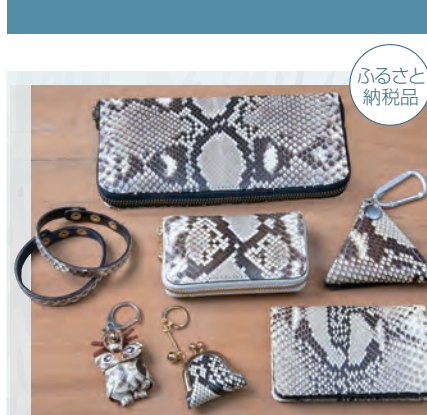
ふるさと納税品



ジャーマンケーキ 1962(5個セット)

のぼりや製菓

創業者が米軍基地内のケーキを参考に販売し、沖縄県民に長年愛されてきたジャーマンケーキの創業60周年記念パッケージ。



ふるさと納税品

蛇革細工 うちなー工芸

金運・幸運を引き寄せる蛇革を使った財布やブレスレットを、オーナー山城正嗣さんが長年磨いた技術で制作。



八分のラムダ

λ/ハスピーカーと溶接アンプ

有限会社知名御多出機(ちなオーディオ)

ハンダをなくすことで音のひずみを取り除き、より生の音に近いクリアな音を再現。目の前でアーティストが演奏しているかのような音質が楽しめます。



竹細工 北谷竹細工

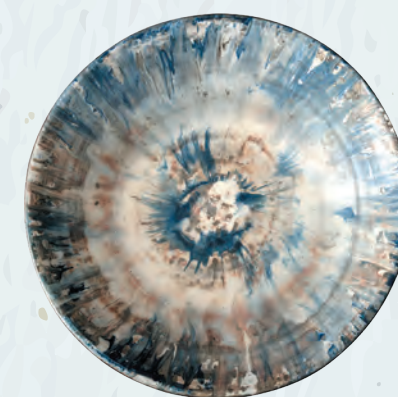
沖縄県でただひとりの竹細工職人となったオーナー津嘉山寛喜さんが作る作品は、自然素材の柔らかさと、昔を思い出させるような懐かしさが魅力。



ふるさと納税品

国指定伝統的工芸品 知花花織

沖縄市知花で18世紀頃に始まった伝統的な織物。模様が縦に連続して浮く経浮花織と、刺繍のように糸が浮く縫取花織技法が特徴。



陶芸 唐仙窯

大皿「しののめ」で文部科学大臣賞を受賞した沖縄県認定工芸士 山内唐仙さんの作品。スリップウェアを使用したデザインや矢羽根模様のデザインが特徴。



紅型 宏次染工房

琉球紅型の伝統を継承しつつ、独自の技法とデザインで新たな琉球紅型を制作する金城宏次さん。生まれ育ったコザをモチーフにした作品も。

木工芸

木工房 秀暖~SHUUDAN(しゅうだん)~

県産木材の木口を使い様々な木の色合いや風合いを作り出す寄木技法と、木目の組み合わせによるデザインが特徴の木製インテリア。



三線 池武当新垣三線店

音色、見た目ともに地元で定評のある池武当新垣三線店の三線。オーナーの新垣喜盛さんは、三線のスタンダードな作り方となった「強化張り」という技術の考案者。



ふるさと納税品

市民に寄り添い
暮らしを豊かに

施設

沖縄市内各地には、その地域の特性を活かした施設や場所が多くあり、生活の拠点として、暮らしを楽しむ場所として市民に親しまれています。



沖縄アリーナ

スポーツやコンサート、展示会などが開催できる多目的施設。収容人数は県内最大(1万人)です。



沖縄市民小劇場あしびなー

沖縄芝居や古典芸能、映画上映やライブ、多彩なジャンルの公演が行われている劇場です。



コザ運動公園

市民の健康づくりやスポーツ活動、競技スポーツの場として幅広く活用されています。



沖縄市民会館

芸術文化の発表、鑑賞の場として市民に幅広く活用されている多目的ホールです。



沖縄市立図書館

ワンフロアの図書館としては九州最大規模の広さを有し、自主的学習スペースも無料で利用できます。



沖縄市産業交流センター

東部地域の拠点を形成するための施設。企業の研修や地域住民の交流の場になっています。



沖縄市文化センター

郷土博物館・芸能館の2部門で構成され、市民に広く活用されています。



沖縄市福祉文化プラザ

保健・福祉の総合施設で、子どもから高齢者まで誰もが気軽に利用できます。



沖縄市老人福祉センターかりゆし園

高齢者の健康増進や教養娯楽提供など、健康で明るい生活を営んでもらうための施設です。



沖縄市農民研修センター

農家のための教育研修の場。福利増進や農業振興を図る他、地域住民の交流の場にもなっています。



沖縄市ITワークプラザ

情報通信技術を活用した場所を提供することにより新たな雇用機会の創出を図っています。

歴史を刻み、
文化を伝える

文化財

沖縄市には貝塚や琉球王国時代、近代の史跡等が数多く残っています。文化財を大切に守り、その価値を後世に伝えていきます。



名勝「アマミクヌムイ」でゑく(越来グスク)「おもろさうし」に琉球創生の神アマミクが造ったと称える歌が記されているグスク。



諸見里の村旗

安政年間(1854～1860年)に、当時の越来間切諸見里村の地頭が製作したものと伝えられています。



泡瀬の京太郎

「扇子の舞」や「鳥刺し舞」などを演じるもので、かつて沖縄で行われていた祝福芸の様子を伝えています。



室川貝塚

1974年に沖縄市庁舎の背後の斜面から発見されました。室川下層式土器など貴重な出土品があります。



古謝のビジュルにあるアコウの木

樹齢100年以上と推定され、樹形もよく古木としても貴重な文化財です。



鬼大城の墓

勝連城主の阿麻和利(あまわり)を敗った鬼大城(大城賢雄)の墓といわれています。



上地のバーキ(竹かご)

沖縄市上地では、昭和初期以前からバーキが盛んに作られており、上地アラバーキと呼ばれていました。



知花花織 馬乗上着と袴

馬乗り競争(シマハラシー)の際に着用していた晴れ着で、19世紀の中頃に製織されたといわれる貴重な資料。



登川碑

1739年、登川部落は池原から分離、独立し現在地へ移転しました。その記念に石碑が建てられました。



美里村屋

1954年に建築された美里地区の公民館。沖縄伝統の建築技術と日本の建築技術が融合した珍しい建造物。



池原の十五夜行事

旧暦8月15日に行われる地域の豊作と繁栄を祝う村落祭。伝統的な踊りや祈願が行われます。

兄弟都市提携50周年
(1974年11月3日提携)



マスコットキャラクター
「マチカネくん」

大阪府 豊中市 とよなかし

大阪国際空港を擁する中核市

豊中市は大阪府中央部の北側に位置する人口約40万人の中核市で、大阪国際空港(伊丹空港)を通して40の都市と結ばれるなど、多くの人や物、情報が行き交う街です。

豊中市との交流は、1964(昭和39)年に豊中市の戦没者・空爆犠牲者追悼式に、コザ市から遺族へ霊石とハイビスカスを贈ったことをきっかけに始まり、1974(昭和49)年、沖縄市誕生市民祭典の場で「兄弟都市宣言」に調印しました。その後もスポーツや音楽を通して交流を深め、豊中市で毎年開催されている「豊中まつり」では「沖縄音舞台」に沖縄のアーティストが多数出演するほか、沖縄市PRの物販も行われます。また、豊中市からも沖縄市産業まつりやピースフルラブ・ロックフェスティバルへ参加するなど、市民間の交流が続いています。



沖縄市市制施行50周年おめでとうございます。兄弟都市の絆も同じく半世紀を迎え、誇りに思います。豊中まつりはバンド派遣やブース出展など、お互いに行き来する市民間交流を続けてきました。今後は若い世代が繋がりを体感し、参画してもらえる事業を展開していきたいです。



豊中まつり実行委員会
田中 裕気さん

姉妹都市提携30周年
(1994年4月1日提携)



マスコットキャラクター
「かねたん」

山形県 米沢市 よねざわし

自然の恵み豊かな雪国

米沢市は山形県の最南端に位置する人口約7万5千人の都市で、江戸時代に上杉氏(米沢藩)の城下町として栄えた街です。特別豪雪地帯に指定されており、温泉や登山、スキーが楽しめます。また、特産品として館山りんご(Apple)、米沢牛(Beef)、米沢鯉(Carp)の頭文字をとった「米沢の味ABC」が有名です。

米沢市との交流は、1974(昭和49)年に市在住の上原清善氏が、米沢出身の戦友の遺骨を収集し遺族に引き渡したことをきっかけに始まりました。以来、現在も続く小学生の親善交流などさまざまな交流を重ね、1994(平成6)年の沖縄市市制施行20周年の年に姉妹都市提携を結びました。今でも両市のまつりやエイサーなどを通じて、文化交流が行われています。



沖縄市市制施行50周年おめでとうございます。長年にわたり、我々上杉エイサークラブと米沢市と沖縄市で交流いただきまして本当に感謝申し上げます。これからもエイサーを広めていけるよう練習・演舞を頑張ります。沖縄市の更なる発展と繁栄をお祈り申し上げます。



上杉エイサークラブ
会長
佐藤 裕樹さん

姉妹都市提携15周年
(2009年11月20日提携)



マスコットキャラクター
「へいしゅうくん」

愛知県 東海市 とうかいし

中部圏最大の鉄鋼のまち

東海市は愛知県の知多半島の西北部に位置する人口約11万3千人の都市で、中部圏最大の鉄鋼基地を持ち、オリジナルの洋ラン栽培も行われていることから「鉄とランのまち」と呼ばれています。

東海市との交流は、1967(昭和42)年に美里村(現沖縄市)の村長が横須賀町(現東海市)を訪問し職員派遣の申し出をしたことに始まります。以来、両市の中学生による親善交流をはじめ、様々な分野での交流を深め、2009(平成21)年の東海市市制施行40周年、沖縄市市制施行35周年の年に姉妹都市提携を結びました。2017(平成29)年からは、東海市で開催されるエイサーや沖縄音楽を中心とした「沖縄フェスティバル」での文化交流も行われています。



沖縄市市制施行50周年おめでとうございます!私は沖縄市中の町青年会の姉妹団体として活動を行っており、青年会の方々と東海市のイベント、全島エイサーまつりの固定演舞にも出演させていただきました。今後も東海市をエイサーで盛り上げていけるよう頑張りたいです。



東の町エイサー
森本 由衣子さん

海外姉妹提携22周年
(2002年1月16日提携)



レイクウッド市章

**アメリカ合衆国
ワシントン州 レイクウッド市**

世界のウチナーンチュ大会が縁結び 湖と森の街

レイクウッド市はアメリカ合衆国西海岸最北部、ワシントン州のシアトル近郊にあります。その名のとおり湖と森の街で、沖縄市とほぼ同じ面積で人口は約6万3千人の都市です。

レイクウッド市との交流は、1995(平成7)年に開催された「世界のウチナーンチュ大会」で、沖縄市が海外姉妹都市提携を呼びかけたところ、翌年、沖縄市出身、シアトル市在住の民間大使・伊礼盛一氏が橋渡しを申し出てくれたことに始まります。以来、市民ツアーや中学生のホームステイ、同市にあるピアス大学への留学など、教育・文化交流を重ね2002(平成14)年に海外姉妹都市提携を結び、現在でもレイクウッド市内の大学に留学する市民への留学金助成が行われています。



私は、沖縄市の海外姉妹都市留学金助成に応募し、2022(令和4)年からレイクウッド市にあるピアスカレッジに留学していました。これまでの沖縄のことを発信する活動を通して、地元の方々と深い文化交流が続いています。今後も、レイクウッド市と沖縄市のさらなる発展と交流が続くことを願っています。



レイクウッド市
ピアスカレッジ 卒業生
與古田 梨乃さん

沖縄市の兄弟・姉妹都市
日本へ、世界へ広がる

交流の輪

沖縄市では国内3つの市と兄弟・姉妹都市提携を結び、異なる地域性や文化・産業など、その都市の特色を活かしながら、交流の輪を広げています。また、国外ではアメリカ合衆国のレイクウッド市と海外姉妹都市提携を結び、国際理解や国際親善を進めています。

自分が小さい頃好きだった動物園が、今は娘の1番好きな場所に! ありがとう沖縄市!

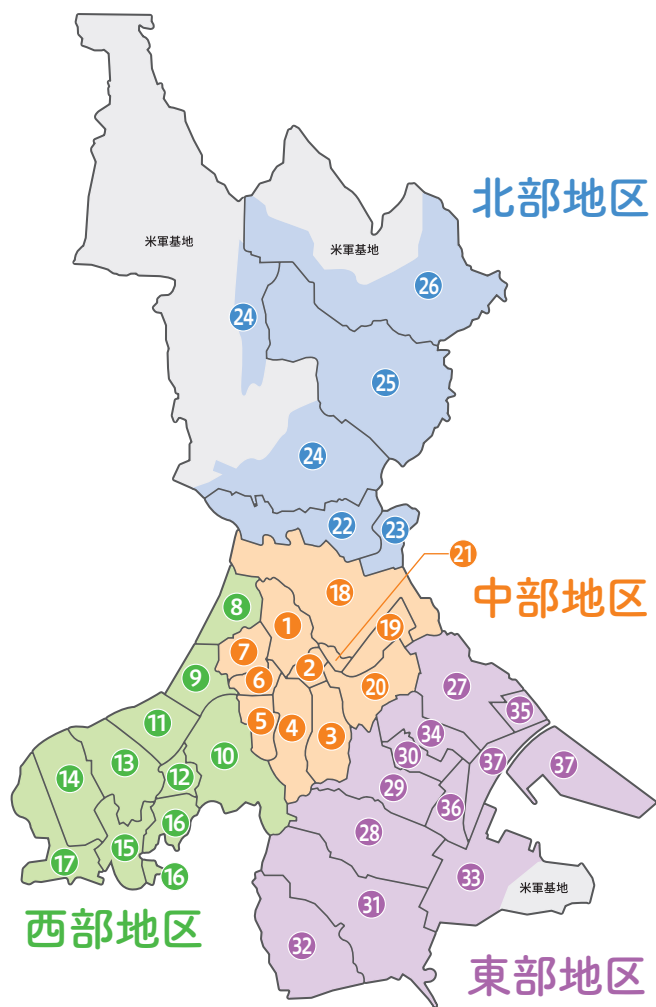
OKINAWA CITY 50th Anniversary
Message from Citizen

沖縄市自治会の紹介

住民の絆を結ぶ
身近な組織

地域住民にとって、もっとも身近で頼れる組織である自治会。沖縄市には37の自治会があり、まちづくりに貢献しています。全自治会の活動内容や特徴などについて紹介します。（令和6年10月現在）

1 越来 会長／船越利幸 越来二丁目18番1号 ☎937-8626	世代間交流が活発な自治会 かつて番所や学校があった、政治や教育の中心地。子ども育成会や青年会の若い世代から、おやじの会や老人クラブ長生会などのお年寄りまでが活躍し、世代間の交流も活発。文化財が多いのも自慢。
2 城前 会長／新里賢一 城前町14番53号 ☎937-4638	区民が団結するまとまりのある地域 農連市場などがあり、利便性の高い地域。世代間の繋がりが強く、毎年、越来城下まつりは盛り上げを見せます。公民館のある越来グスク跡は、国指定名勝「アマミクヌミ」に追加指定された地域のシンボル。
3 照屋 会長／島袋林大 照屋一丁目32番34号 ☎937-4470	花植え活動が盛んな美しいエリア 住民による組織が継承されており、まつりや平和学習、三線やカラオケ大会など多くの行事や花植え等による明るい地域づくりが行われています。老人会や青年会などの活動が活発な元気な地域。
4 安慶田 会長／狩俣伸悟 安慶田二丁目19番27号 ☎937-4633	歴史を感じるまちに自慢の銭湯も 長い歴史を持つ閑静な住宅地域で、御嶽や古い井戸など歴史を感じるものがあります。県内唯一、温泉を使った銭湯があるのも自慢。季節ごとの催しや世代間の交流を積極的に行っています。
5 室川 会長／瑞慶寛栄 室川二丁目11番12号 ☎937-7055	著名な唄者を輩出した潤いあるまち 催しものや、植栽・草刈りなどの美化活動にも積極的な花と緑で潤う地域。沖縄市の古代史を彩る室川貝塚がある他、著名な沖縄民謡歌手らを輩出し、郷土芸能愛好家が多く住むエリアです。
6 住吉 会長／嘉数吉光 住吉一丁目10番10号 ☎937-4631	温かみのある住みよいエリア 胡屋十字路からコザ十字路へ至る中間の盆地に位置する温かみのある住宅地域で、住みよいまちであることが住民の宝。老人会・女性の会・青年会のOB会などが、地域活動を支え次世代へと繋げています。
7 嘉間良 会長／普久原毅 嘉間良二丁目4番1号 ☎938-1551	豊かな自然と歴史が息づく環境 緑や泉、川など自然環境に恵まれた地域で、2500年以上前の物といわれる石器や貝殻等が出土した八重島貝塚は、地域の宝。長年住み続けている高齢者が多く、伝統行事を地域で守り続けています。
8 八重島 会長／屋宜和子 八重島一丁目4番7号 ☎080-1441-3123	強い絆で若い人材を育成する 昔ながらの近所付き合いができる住民の絆が強い地域で、緑豊かな八重島公園は地域の自慢。グラウンド・ゴルフ愛好会や子ども会の活動の他、地域行事や新たな活動など明るく楽しい自治会づくりを進めています。
9 センター 会長／松田健治 中央二丁目6番53号 ☎938-5907	沖縄市中心の賑やかな商業地域 ゲート通りや一番街、中央パークアベニューなどの商店街がある商業地域。沖縄国際カーニバルやゲート＃2フェスタなど国際色豊かなイベントが多いのも特徴。さくらねこTNRにも取り組んでいます。
10 胡屋 会長／島袋恭治 胡屋三丁目17番4号 ☎933-5090	みんなで守り、支え合う安心のまち 老人会や働き盛り・子育て世代で作る「胡屋こころ会」、青年会が熱心に活動し、連携も強い地域。自治会中心の行事や世代間交流も活発。防災・防犯活動にも力を入れ、安心で住みよい地域づくりに取り組んでいます。

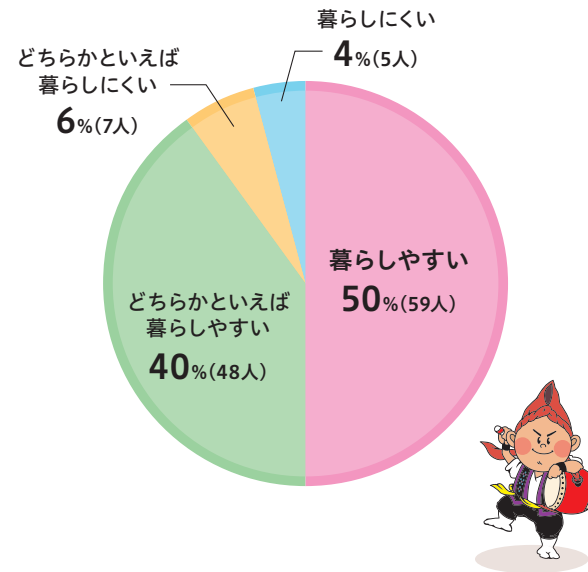


11 中の町 会長／普久原真吾 上地四丁目22番2号 ☎933-4259	音楽や文化活動が盛んなまち 「中の町はひとつ」を合言葉に、願寿会や女性会、青年会、育成会が協力し地域を盛り上げています。ミュージックタウン音市場やライブハウス等での音楽、エイサーモニュメントが地域を彩っています。
12 園田 会長／末吉裕子 園田三丁目23番29号 ☎933-4211	エイサーが盛んな民謡発祥の地 園田青年会のエイサーは全国的に人気が高く、県外団体への指導も行っており、子ども会エイサーも地域の自慢。戦後民謡の復活に尽力した歌手たちが住んだ園田は、戦後民謡の発祥の地といえます。
13 諸見里 会長／知念花代子 諸見里一丁目29番15号 ☎933-5258	歴史的な獅子旗が地域の宝物 老人クラブ、婦人会、青年会、子ども会の活動が活発なエリア。また、約200年前に作られたといわれる獅子旗は、地域の宝。旧暦7月16日には、繁栄を願って伝統行事の旗スガシーを行っています。

14 山内 会長／廣山實 山内三丁目24番3号 ☎933-4792	ヤマモモを大切にする歴史あるまち 史跡や井泉（村ガー）が多く、尚円王の子で三司官だった山内昌信が祀られる歴史あるまち。戦前からヤマモモの里として知られ、現在も公民館前の広場にはその木があり、歌碑も建てられています。
15 山里 会長／仲宗根友弥 山里二丁目1番1号 ☎933-2202	南の玄関口として栄えるエリア 再開発により魅力が増し、沖縄市の玄関口ともいえる位置にある交通の便利な地域。地域の宝のエイサーは、青年会OBも共に盛り上げます。魅力あふれる地域づくりに取り組んでいます。
16 久保田 会長／佐和田辰夫 久保田二丁目27番19号 ☎933-4201	近隣と協力し合う南端のまち 一人暮らしの高齢者も多く、パトロールや声かけ、自治会や青年会による一人暮らし高齢者宅の草刈りや道路清掃活動など住民の繋がりを大切にして、いる温かな地域。プラザハウスは地域の名所。
17 南桃原 会長／島袋由香 南桃原三丁目14番1号 ☎933-2203	団結力が自慢の自然あふれる地域 学校・公園・多数の店舗等が並び緑豊かで便利なエリア。サークルや子ども会・青年会・老人クラブの活動が活発。行事の際は地域の団結力が誇り。古代人の頭蓋骨が出土した桃原洞穴遺跡は、大切な文化財。
18 美里 会長／仲宗根智 美里二丁目19番13号 ☎937-3697	新旧のまち並みが融合したエリア 歴史と文化を感じさせる閑静なまち並みと区画整理された新しいまち並みが融合したエリア。国の有形文化財「美里村屋」（んざとうむらやー）は地域の宝。伝統行事「スーマチ」「カママイ」も継承。
19 東 会長／森東留美加 東一丁目29番1号 ☎938-4853	多様性を大切にする文化的なまち 離島ややんばるからの移住者が多く、東を故郷として活性化するために開催している「あがりな〜ざとエイサーまつり」は、地域のイベントとして定着。心安らぐ故郷づくりを推進しています。
20 宮里 会長／金城清美 宮里一丁目3番9号 ☎938-4821	暮らしやすさが自慢の子育てと教育のまち 長い歴史がありながら40年前に途絶えた地域のエイサーを若い世代が復活。県下の児童数を有する「宮里小学校」があり、子育てのまち・教育のまちとして、活気ある住みよい地域に発展。
21 吉原 会長／比嘉盛秀 美里一丁目18番8号 ☎937-3344	人間国宝や事業家を輩出したまち 戦後、各地から移住してきた人々が苦労して興した自治会。人口約300人の小さな自治会ですが、人間国宝や多くの事業家を輩出した誇りを持ち、世代間交流と安全な地域づくりに力を入れています。
22 松本 会長／川井田聖子 松本一丁目6番12号 ☎938-3341	ゆいまー精神が残る由緒ある地域 尚円王の時代にまで遡る歴史を持つ地域。青年会が高齢者を支援し、ゆいまー精神が根付いています。伝統行事「星の御願」や約500年前に中国から伝来したといわれる水松は地域の名物。
23 明道 会長／喜友名芳美 明道一丁目20番10号 ☎939-4338	恵まれた環境で明るい子どもが育つ 公園や自然に恵まれ、商業施設・病院・学校が揃った地域。サークル活動が活発で作品展も開催。保育園や福祉施設と協力する夏まつりなど地域交流も豊富で、子どもたちや地域の未来に繋がる活動が盛ん。
24 知花 会長／宇良敢 知花一丁目11番7号 ☎937-4516	伝統的な文化や工芸が息づく地域 国の伝統工芸品「知花花織」をはじめ、「獅子舞」や「エイサー」「ウスデーク」など豊かな伝統文化があり、継承に尽力。知花城跡や鬼大城の墓などの文化財も多数で、世代間交流や地域行事も充実。
25 登川 会長／屋宜宣芳 登川三丁目36番1号 ☎937-6185	アクセスしやすく発展を続けるまち 1739年に琉球王朝の命により、元島から人々が移動した地域。沖縄北1Cに近く、中部ファーマーズマーケットちゃんぶる一市場や商業施設・病院・学校などがあります。地域を守る活動も積極的。

26 池原 会長／喜友名朝敬 池原一丁目25番15号 ☎937-5922	祭りや行事を大切に守るエリア 市の民俗文化財で90年以上続く十五夜行事「ウスデーク」「獅子舞道ジュネー」と敬老会は、自治会の一大行事。老人会の芸能クラブやウスデーク保存会、スポーツ大会等の行事も活発。
27 古謝 会長／高江洲義八 古謝二丁目23番1号 ☎938-3911	長い歴史と芸能を継承する地域 集落形成から500年以上の歴史がある住みよい住宅地域。市の指定文化財「古謝のビジュアルとアコウの木」の他、「アシビナー」など文化財が多く、芸能も盛ん。長さ346mの古謝大橋はまちの自慢。
28 高原 会長／東條渥子 高原四丁目5番40号 ☎937-3668	人口増加で新旧の文化が共存するまち 学校・福祉施設・公園が充実し、人口増加で日々変化するまち。交流行事が盛んで、伝統行事や慰霊祭も大切に受け継いでいます。国内外からの転入者の新しい文化も定着しつつあります。
29 大里 会長／島袋厚子 大里二丁目13番25号 ☎937-4458	伝統を大切に受け継ぐ文教地区 市の東部に位置する準農村地域。古くからの農村地域のため、「獅子舞」「アブシバレー」「綱引き」などの伝統行事が多く、大切に継承しています。コザ高校を擁するなど文教地域でもあります。
30 東桃原 会長／古謝加代子 桃原一丁目2番15号 ☎934-0300	農産品で知られる住みよいまち 静かで住みよい住宅地域で、サトウキビやマンゴーなどの農産品が地域の名物。文化財や神事なども大切にしています。世代間や地域との交流イベントや防災活動に力を入れています。
31 比屋根 会長／仲松明美 比屋根六丁目7番1号 ☎932-8950	今までの団結力と新たな繋がりで活性化 先輩たちから受け継いだ住民の団結力に加え、地域小学校との繋がりを活かし、幅広い世代で活発な地域活動が自慢。特に、子ども会育成会、老人クラブ、比屋根エイサーの部会は活発に活動しています。
32 与儀 会長／宮城和宏 与儀一丁目13番1号 ☎933-2596	古くからのしきたりを重視する地域 祖先崇拝を重視し、拝所が多く、御願行事を継承しています。1951年に慰霊之塔が建立されて以来、毎年、慰霊の日に慰霊祭を開催。沖縄名木百選に認定されたガジュマルとデイゴは地域の宝。
33 泡瀬 会長／中地雄高 泡瀬二丁目3番26号 ☎939-7335	整備された静かで快適な潮風薫るまち 中城湾に面し、戦前はアーシマース（泡瀬製塩業）が盛んな地域でした。伝統行事の中心「泡瀬ビジュアル」や「泡瀬の大綱引き」、国選択の無形文化財「泡瀬の京太郎」など伝統文化を大切にしています。
34 泡瀬第一 会長／高江洲義憲 桃原三丁目16番14号 ☎937-4459	自治会活動が盛んで住みよいまち 学校や病院・商業施設などが揃う便利な地域。子どもたちを見守り育てる「ゲンキ塾」の開設や、多くの住民が参加できる催し、防犯防災対策講話などを行う、世代間交流が活発なコミュニティー。
35 泡瀬第二 会長／平良光範 古謝三丁目19番13号 ☎937-0599	県道が整備された便利なエリア 音楽や月見会・上映会など多彩な催しで親睦を深めています。住民手作りのプレハブ公民館も自慢。門が3つある珍しいジョーミーチャー墓があるため、「ジョーミーチャー」とも呼ばれているエリアです。
36 泡瀬第三 会長／仲真紀子 泡瀬五丁目19番1号 ☎938-4661	市 泡瀬 三（しあわせさん）のナイスな地域 老人会・婦人会・子ども会の活動が活発で「しあわせさん」と名前に恵まれた自治会。公民館は、コミュニティー施設として、地域内外の保育園や団体、個人に多く活用され毎日賑わっています。
37 海邦町 会長／加賀美英志 海邦二丁目12番38号 ☎938-4950	市内で最も新しい37番目の自治会 泡瀬の埋立地にできた市内で最も新しい自治会。県内初の防災設備を備えたマンタ公園があり、多くの子どもたちで賑わっています。子どもの人材育成や地域交流、課題解決に取り組んでいます。

 **沖縄市は暮らしやすいですか？**
(有効回答数119人)



Response	Percentage	Number of People
住み続けたい	58%	70人
どちらかというに住み続けたい	29%	35人
わからない	10%	12人
住み続けたくない	3%	3人

Category	Percentage	Count
エイサー	33%	69件
チャンプルー文化	23%	47件
バスケットボール (琉球ゴールデンキングス)	22%	45件
音楽 (民謡・ロックなど)	14%	29件
スポーツ	6%	13件
その他	2%	5件

- 子育てしやすいまち。保育料0歳児から無料、給食費無料だと、住みたいと思う人が増えると思う。
- 国際色豊かなまち
- もっと駐車場が多く、昼も夜も楽しめるまち
- 高齢者、障がい者でも自力で買い物や娯楽に出かけやすいまち
- 文化で賑わう街になると良いなと思います。
- 渋滞が少ないまち
- 仕事がたくさんある。産業があるまち
- 若者が多く活力のあるまち
- 治安よく文化に触れられるまち
- 貧困のない、産業が活発なまち
- 50年代のアメリカ風の街並み
- 公園や児童館などをさらに充実化して、子育て世代に優しいまちになってほしい！
- 9月7日は沖縄市民平和の日。平和なまちとして、もっと市民、県民へアピールが必要だと思います。
- ハーフの息子が2人居ます。他市では振り返って見られたり、意地悪な人も居ました。沖縄市はチャンプルー文化を大切に、人に優しいまちでありつけて欲しい。
- 那覇市や浦添市と違った街並み、国際色にする。
- 免許を返納しても、どこに住んでも、病院やスーパー行きやすいまち
- 高齢者、障がい者など身体に不自由があっても、自力で買い物や娯楽に出かけやすいまち

**UD
FONT** 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。